

長尺

長尺印刷対応ソフト

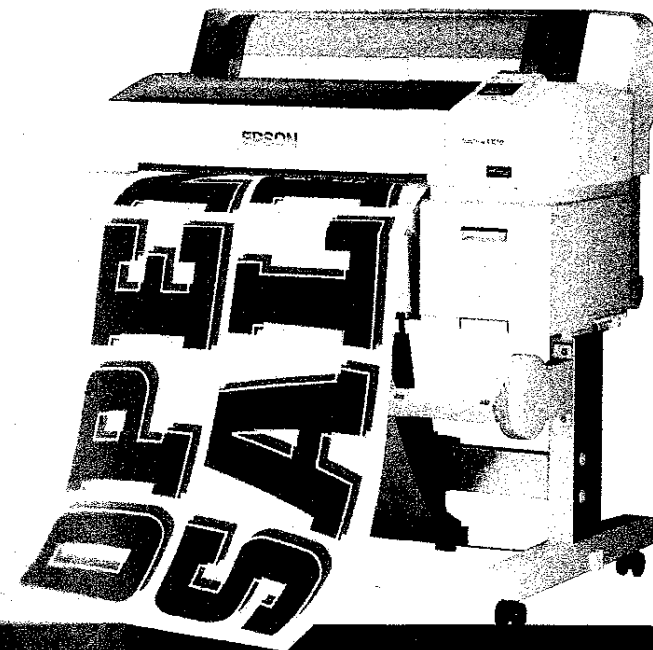
Windows8.1/8/7/Vista/Xp/2000

FACTORY

長尺ファクトリー

Ver 1.0

取扱説明書



目 次

ご注意	1
はじめに	2
ご使用になる前に	2
動作環境	2
長尺 FACTORY をインストールする	3
CD-ROMが自動再生しなかった場合	5
長尺FACTORYをアンインストールする	6
操作手順	7
「ウィザードで作成する」でレイアウトを作成しましょう	7
レイアウトを印刷してみましょう	10
レイアウトを変更してみましょう	11
背景を変更しましょう	11
書体を変更しましょう	13
画像を変更しましょう	14
画像を移動してサイズを変更しましょう	15
文字列を追加しましょう	16
「自分で作成する」でレイアウトを作成しましょう	17
コマンド一覧	18
作図画面	18
タイトルバー	18
メニューバー	18
標準ツールバー	18
メインツールバー	19
オブジェクト選択	20
点操作	21
アンカーポイント	22
コントロールポイント	22
曲線直線切替え	23
拡大表示	24
文字入力	24
定規	26
グラデーション	26

塗潰し.....	27
スポイト.....	27
フリーハンド.....	27
直線.....	27
矩形.....	28
楕円.....	28
連続線.....	29
回転.....	30
鏡.....	31
ステータスバー.....	31
色設定パレット.....	31
ブラシパレット.....	32
文字パレット.....	32
レイヤーパレット.....	32
ビューパレット.....	33
右クリックポップアップメニュー.....	33
サイズ変更.....	33
トンボ作成.....	34
線幅変更.....	34
図形に変換.....	35
ファイル.....	36
新規作成.....	36
開く.....	36
閉じる.....	36
上書き保存.....	37
名前を付けて保存.....	37
「MyEPSON」データ読込.....	37
(現在「MyEPSON」の素材&フレームワークサービスは中止になっております。)	
画像ファイルの読込.....	38
画像ファイルへ保存.....	38
TWAIN.....	39
印刷設定.....	39
印刷プレビュー.....	40
印刷.....	41
縮小印刷プレビュー.....	42
縮小印刷.....	42

環境設定.....	42
最近使ったファイル.....	43
終了.....	43
編集.....	44
元に戻す.....	44
やり直し.....	44
切り取り.....	44
コピー.....	44
貼り付け.....	44
削除.....	45
すべて選択.....	45
選択範囲の反転.....	45
部品.....	46
文字列のパターン呼出.....	46
文字列のパターン保存.....	47
文字列のパターン削除.....	47
画像のパーツ呼出.....	48
画像のパーツ保存.....	48
画像のパーツ削除.....	49
ウィザード呼出.....	50
ウィザード保存.....	50
ウィザード削除.....	50
文字列装飾.....	51
線上に配置する.....	51
四角に変形する.....	52
円弧に変形する.....	52
影を付ける.....	53
縁取りを付ける.....	53
画像.....	54
コントラスト.....	54
明るさ.....	54
ガンマ補正.....	55
解像度.....	55
クリッピング.....	56
領域指定クリッピング.....	57

色指定クリッピング	58
クリッピング解除	59
調整	60
レイヤーの順序	60
レイヤーの追加	61
レイヤーの削除	61
オブジェクトの順序	61
整列	62
左揃え	62
左右中央揃え	62
右揃え	62
上揃え	63
上下中央揃え	63
下揃え	63
縦中央移動	64
横中央移動	64
横均等揃え	65
縦均等揃え	65
幅揃え	65
高さ揃え	66
グループ化	66
グループ解除	66
オブジェクトの複合	67
オブジェクト複合の解除	67
表示	68
塗潰し表示	68
拡大	68
縮小	68
拡大率指定	69
全体表示	69
ガイド	70
ガイドをロック	70
ガイドを削除	70
標準ツールバー	71
メインツールバー	71

ビューパレット	71
色設定パレット	71
ブラシパレット	71
文字パレット	71
レイヤーパレット	71
全パレット表示/非表示	71
拡張	72
ロゴ作成	72
画像	72
ゴミの除去	72
アウトラインの作成	73
点	74
点の移動	74
点の追加	74
点の削除	75
点の重ね	75
線	76
線の移動	76
線の削除	76
曲線化	77
直線化	78
線の分割	78
ウィンドウ	79
重ねて表示	79
並べて表示	79
アイコンの整列	80
ヘルプ	80
トピックの検索	80
バージョン情報	80
FAQ よくあるお問い合わせ	81
■表示に関するお問い合わせ	81
■印刷に関するお問い合わせ	81
■WMF ファイルに関するお問い合わせ	83
■フォントに関するお問合せ	83
■図形操作に関するお問い合わせ	83
■その他のお問い合わせ	83

ご注意

- 1:このソフトウェアの著作権は、株式会社テオンにあります。
- 2:このソフトウェアおよびマニュアルの内容の一部または全部を無断で使用、複製、レンタルすることはできません。
- 3:このソフトウェアは、コンピュータ1台につき1セットが必要となります。
- 4:このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみご使用になれます。
- 5:このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響につきましては、いつさいの責任を負いかねます。
- 6:このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている内容は、将来予告なく変更されることがあります。
- 7:本製品の仕様がこのマニュアルの記述と一部異なることもあります。
- 8:このマニュアルの内容について万全を期して制作いたしましたが、万一記載に誤りや不備な点がありましたらご連絡ください。

本書に記載されている商品名、および製品名等は、一般に各社の登録商標または、商標です。
『長尺FACTORY』は株式会社テオンの商標です。

はじめに

この度は、『長尺FACTORY』をお買上頂き、誠にありがとうございます。

『長尺FACTORY』はポスターを簡単に作成しプリントアウトするソフトウェアです。

『長尺FACTORY』がさまざまなビジネスシーンで活躍し皆様にご満足いただけるものと思えます。

本ソフトを正しく末永くお使いいただくために、必ず本書をご一読いただきますようお願い申し上げます。

ご使用になる前に

本ソフトウェアはWindows上で動作するアプリケーションソフトです。

本マニュアルでは、スタートボタンやタスクバーの使い方、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作について、ユーザーがすでにご存じであることを前提に書かれています。もし操作がわからない場合は、Windowsのパッケージに付属している操作マニュアル等を参照してください。

Windowsが正しく動作しているかを確認してからお使いください。

動作環境

長尺FACTORYは下記システム構成以上の機能を搭載したパソコンが必要になります。

プロセッサ:	Pentium4プロセッサ 2GHz以上
OS:	Windows 8/7/Vista/Xp/2000
メモリ:	1GByte以上
ハードディスク:	8GB 以上の空き
ドライブ:	CD-ROM ドライブ
GPU:	SVGA 以上 (DirectX9 以上推奨)
グラフィックメモリ	~ (128MB 以上)
ディスプレイ:	800 × 600 ドット以上 (1024 × 768 ドット以上推奨)
プリンタ:	エプソン社製カラーインクジェットプリンタ、カラーレーザープリンタ
スキャナ:	エプソン社製 TWAIN 対応カラーイメージスキャナ

長尺FACTORYのインストール

長尺FACTORYをインストールする

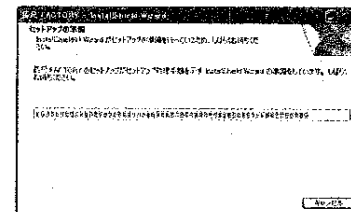
※プリンタおよびスキャナのドライバはあらかじめインストールしてください。

1. Windows を起動します。

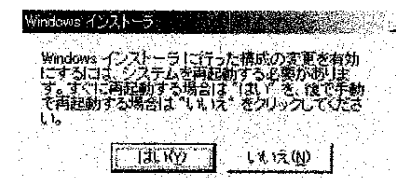
インストールプログラムは大量のメモリを消費しますので動作中のアプリケーションは終了してください。また、ウィルススキャンソフトも終了してください。

2. 長尺FACTORY CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

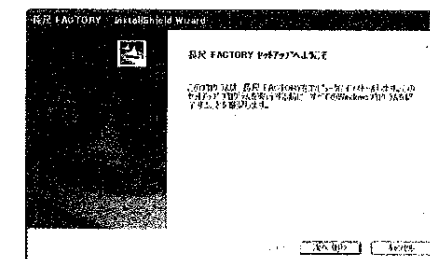
インストールの準備中のダイアログが表示されます。



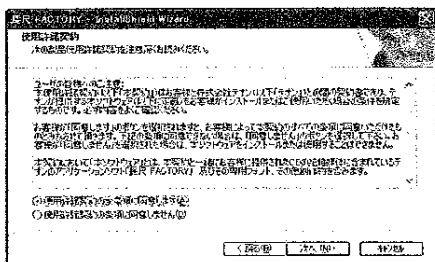
3. Windows Installer がインストールされていない場合は下記ダイアログが表示されますので、はい(Y) ボタンをクリックしてシステムを再起動します。



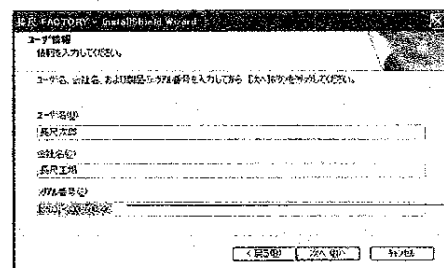
4. 次にセットアップウィザードが表示されます。＜次へ(N)＞ボタンをクリックします。



5. 使用許諾契約のダイアログボックスが表示されますのでよくお読みになり、同意する場合は「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」にチェックを入れ、次へ(N) > ボタンをクリックします。

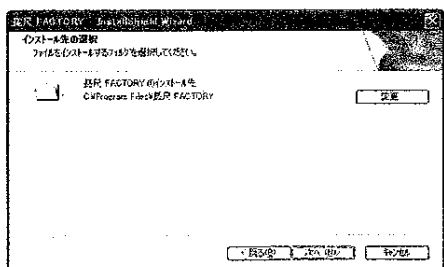


6. ユーザの情報ダイアログボックスが表示されます。「ユーザ名」「会社名」「シリアル番号」を入力して、次へ(N) > ボタンをクリックします。

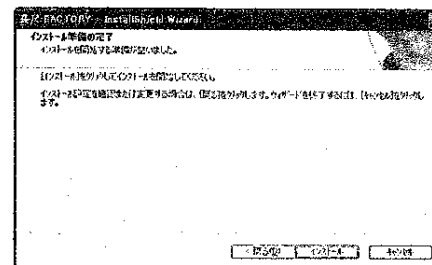


ハイフン
↓
LF × × × × - × × × × × × × × × ×
5桁 9桁
※全て半角で入力してください。

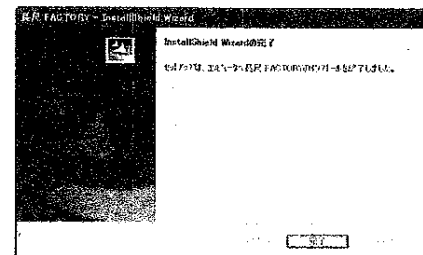
7. インストールフォルダの選択ダイアログボックスが表示されます。
<C:\Program Files\長尺FACTORY>フォルダ以外のフォルダにセットアップしたい場合は、<変更>ボタンをクリックして、<フォルダの選択>ダイアログボックスで希望するフォルダを選択して、次へ(N) > ボタンをクリックします。
フォルダの変更のない場合はそのまま次へ(N) > ボタンをクリックします。



8. インストールの確認ダイアログボックスが表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてインストールを開始します。



9. コピーが終了すると下記ダイアログが表示されます。<完了>ボタンをクリックしてインストールを終了します。インストールが完了したらコンピュータを再起動してください。



CD-ROMが自動再生しなかった場合

長尺FACTORY CDをCD-ROMドライブに挿入後、インストール画面が自動起動しない場合は、セットアッププログラムを手動で実行しインストールします。

1. 長尺FACTORY CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. Windowsスタートメニューで[ファイル名を指定して実行(R)]を選択します。
3. <CD-ROMドライブのドライブ名>:\ysetup.exeと入力します。

例) d:\ysetup.exe

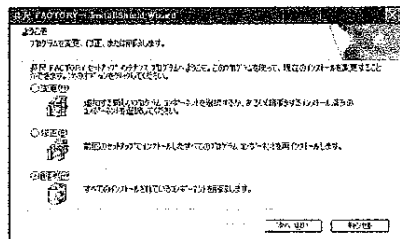
4. インストールプログラムが起動します。

詳しくはP3の「長尺FACTORYをインストールする」を参照してください。

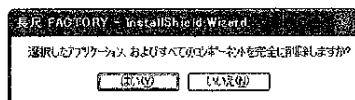
長尺FACTORYをアンインストールする

1. 長尺FACTORY CDをCD-ROMドライブに挿入します。

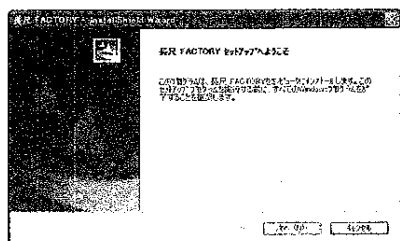
長尺FACTORYセットアップウィザードが起動されますので<削除(R)>を選択して<次へ(N)>ボタンをクリックします。



2. 確認のダイアログボックスが表示されます。<はい(Y)>ボタンをクリックします。



3. ファイルの削除後、下記ダイアログボックスが表示されますので<完了>ボタンをクリックして終了します。

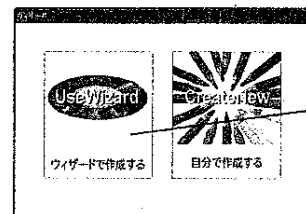


操作手順

「ウィザードで作成する」でレイアウトを作成しましょう

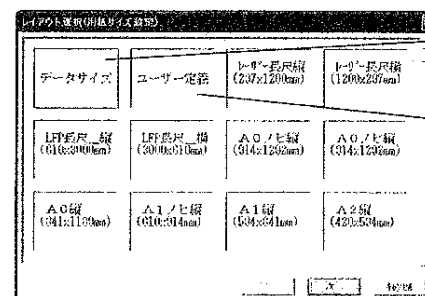
長尺FACTORYを起動すると「ウィザードで作成する」と「自分で作成する」のダイアログが表示されます。

1. 下記ダイアログが表示されますので「ウィザードで作成する」を選択します。



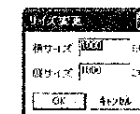
2. 「レイアウト選択(用紙サイズ設定)」のダイアログボックスが表示されます。

「データサイズ」を選択し<次へ>をクリックします。



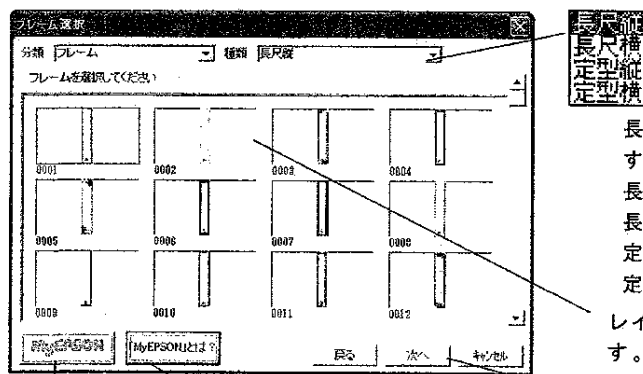
データサイズ:
登録されているレイアウトのサイズに用紙サイズを自動設定します。

ユーザ定義:
用紙の縦、横サイズを入力します。



3. 「フレーム選択」画面でフレームを選択して<次へ>をクリックします。

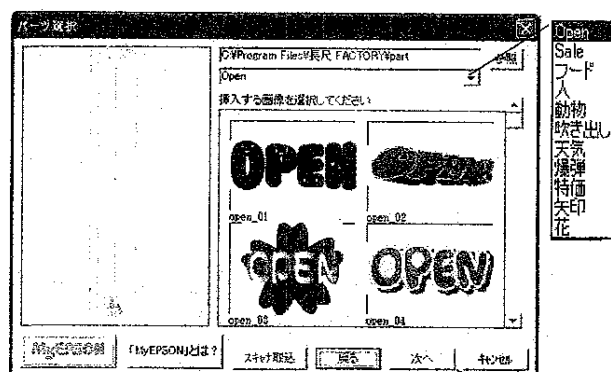
(現在、「MyEPSON」の素材&フレームワークサービスは中止になっております。)



現在「MyEPSON」の素材&フレームワークサービスは中止になっております。

4. パーツ選択画面が表示されますのでボタンをクリックしてカテゴリを選択し表示された画像を選択して<次へ>をクリックします。

(現在「MyEPSON」の素材&フレームワークサービスは中止になっております。)



EPSONスキャナを使用して画像を取り込みます。

カテゴリが選択できます。

※テンプレート一覧は長尺FACTORY CD-ROM内のカタログフォルダにある長尺FACTORYカタログ.pdfを参照してください。

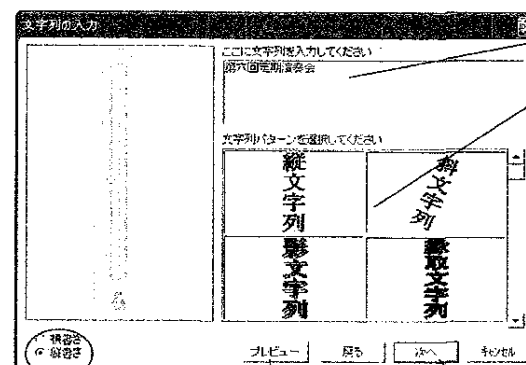
※長尺FACTORYカタログ.pdfを参照するにはAcrobat Readerが必要です。インストールされていない場合はCD-ROM内のAdbeRdr708_ja_JP.exeをダブルクリックしてインストールしてください。

<次へ>をクリックすると文字列の入力画面に移ります。

5. 文字列の入力のダイアログボックスが表示されます。

縦書き、横書きのチェックを選択すると文字列パターンのイメージ表示が切り替わります。イメージ一覧からパターンをクリックして、文字入力欄に文字列を入力します。

<次へ>ボタンをクリックすると完成イメージが表示されます。



文字列を入力します。

文字列パターンを選択します。
※四角変形、円弧変形、グラデーションはウィザード終了後、図形に変換されるので文字の修正ができません。
※影文字列、縁取文字列の影の色を変更するにはウィザード終了後、「文字列装飾」、「影を付ける」、「縁取りを付ける」で変更することができます。
詳しくはP53の「影をつける」、「縁取りを付ける」を参照してください。

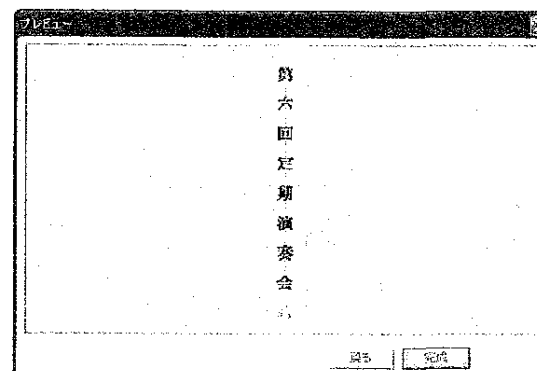
横書き、縦書きのいずれかを選択します。

プレビューをクリックすると文字イメージが表示されます。

<次へ>をクリックするとプレビューの完成画面に移ります。

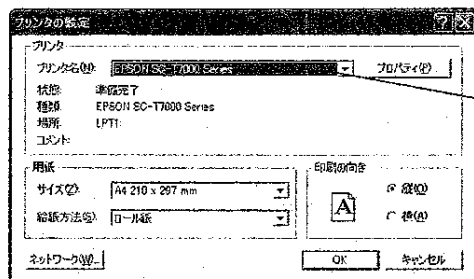
6. 完成のイメージが表示されます。<完成>ボタンをクリックするとメイン画面にレイアウトが表示されます。

やり直す場合は<戻る>ボタンをクリックすると前に戻ります。



レイアウトを印刷してみましょう

1. [ファイル(F)][印刷設定(R)]を選択して使用するプリンタを選択します。
※用紙サイズ、給紙方法は印刷時に自動で設定されます。

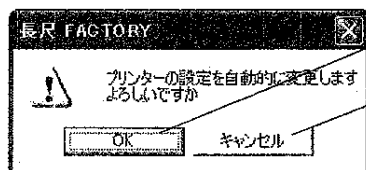


EPSONプリンタを選択します。

2. [ファイル(F)][印刷(P)]を選択します。

プリンタの自動設定ダイアログボックスが表示されますので<OK>ボタンをクリックするとプリンタの設定内容が変更されます。

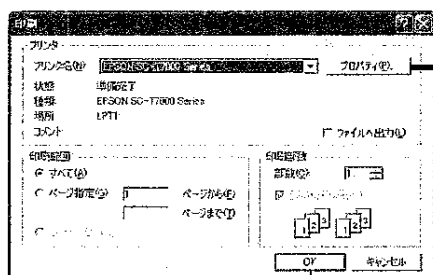
手動で設定する場合は<キャンセル>ボタンをクリックしてください。



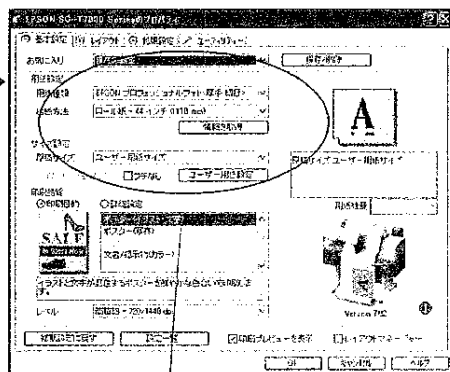
<OK>ボタンをクリックします。

長尺モードがないプリンタや手動で設定する場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

3. 印刷のダイアログボックスが表示されますので<OK>ボタンをクリックして印刷します。

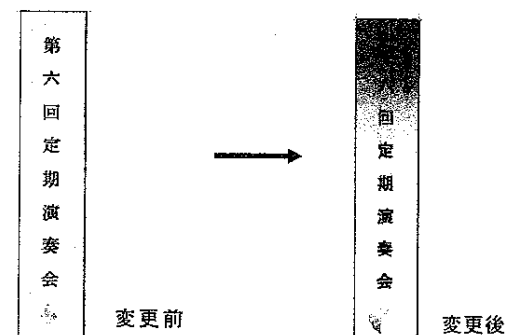


<OK>ボタンをクリックすると印刷を開始します。



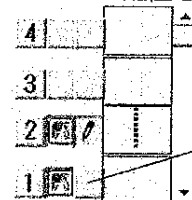
この設定が変更になります。

レイアウトを変更してみましょう



背景を変更しましょう

1. フレームが配置されているレイヤー1を選択します。



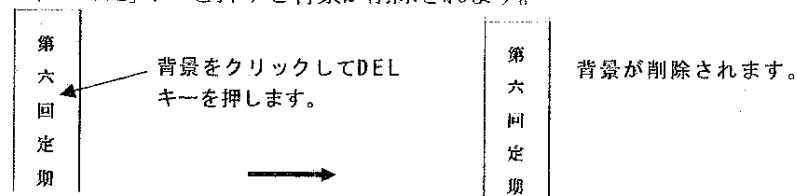
レイヤー1のここをクリックします。

※ウィザードから作成したときレイヤー1にフレーム、レイヤー2に文字、パーツが配置されます。

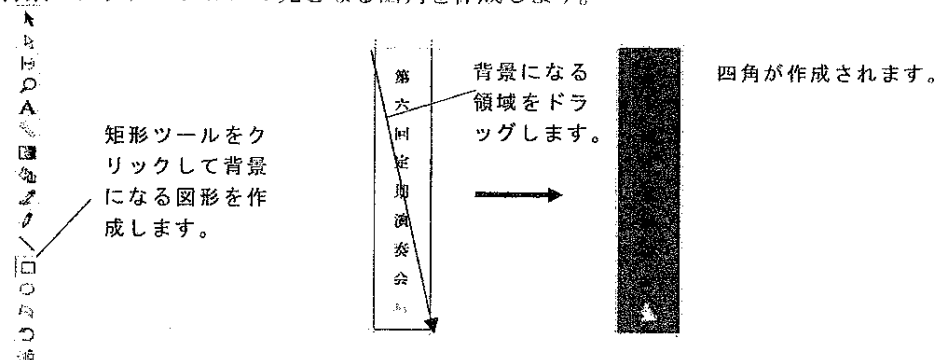
※詳しくはレイヤーパレットP32を参照してください。

2. オブジェクト選択ツールをクリックしてから背景をクリックして選択します。

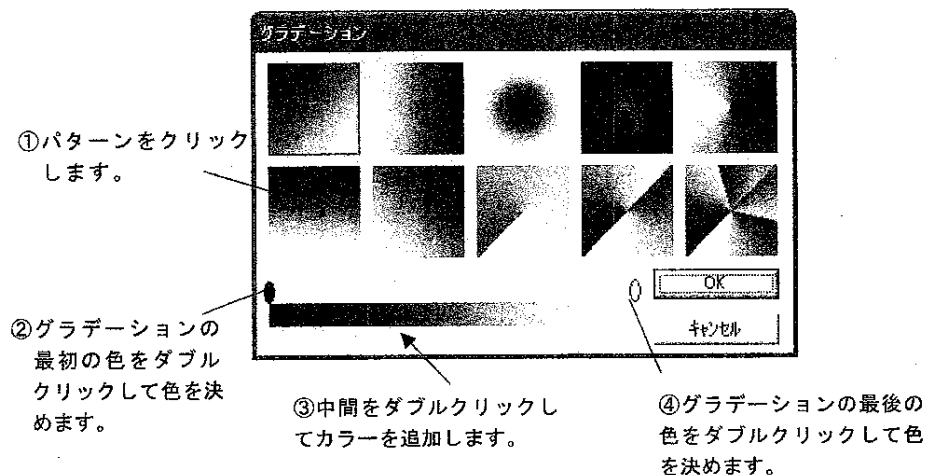
キーボードの「DEL」キーを押すと背景が削除されます。



3. 背景のグラデーションの元となる四角を作成します。

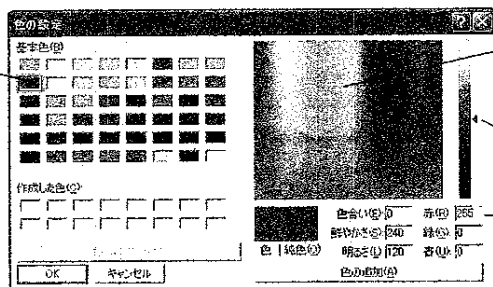


4. グラデーションを選択して背景をグラデーションにします。



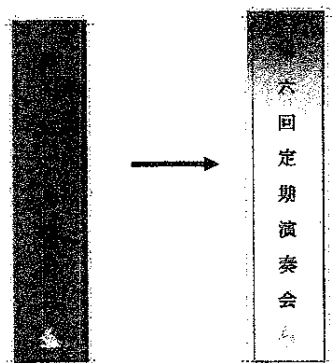
色設定方法

色設定方法1
規定の色をクリック
します。



色設定方法2
カラー領域をクリックし
ます。
明るさを変更します。

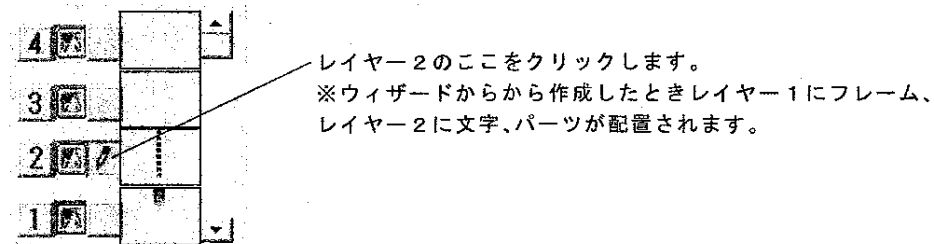
色設定方法3
RGBの数値を入力します。



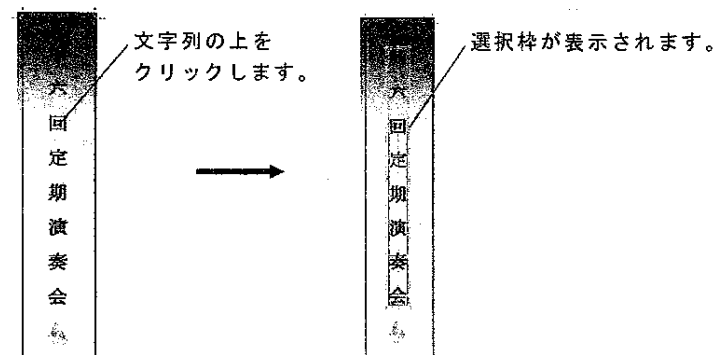
グラデーションの完成。

書体を変更しましょう

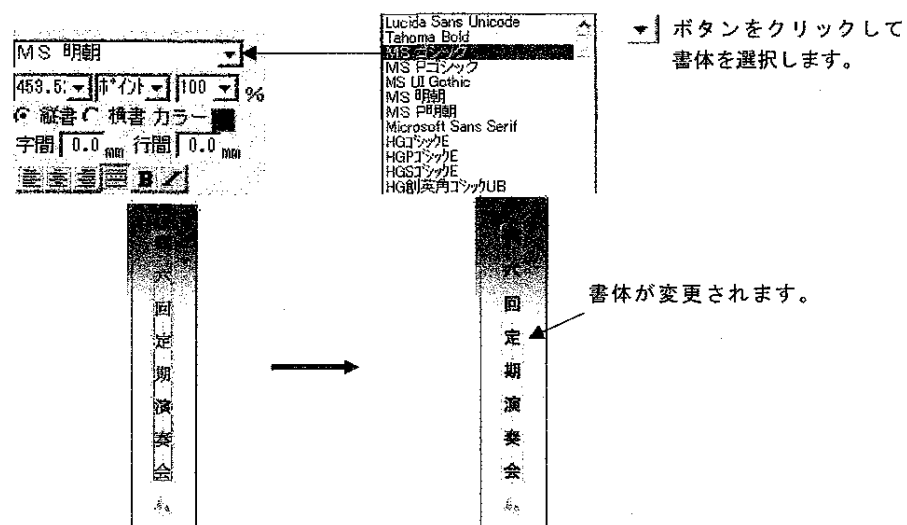
1. 文字列が配置されているレイヤー2を選択します。



2. オブジェクト選択ツールをクリックしてから文字列をクリックして選択します。



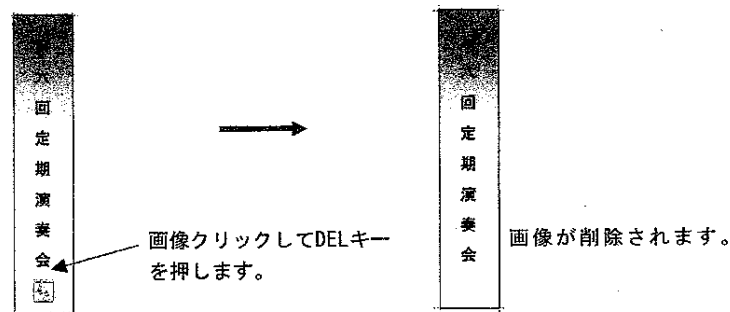
3. 文字パレットから書体を選択します。



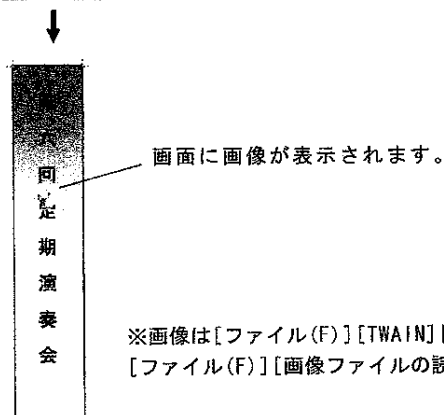
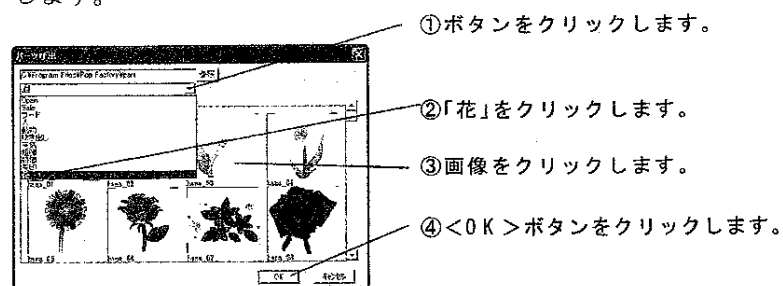
画像を変更しましょう

1. オブジェクト選択ツール  をクリックしてから画像を選択します。

キーボードの「DEL」キーを押すと背景が消えます。

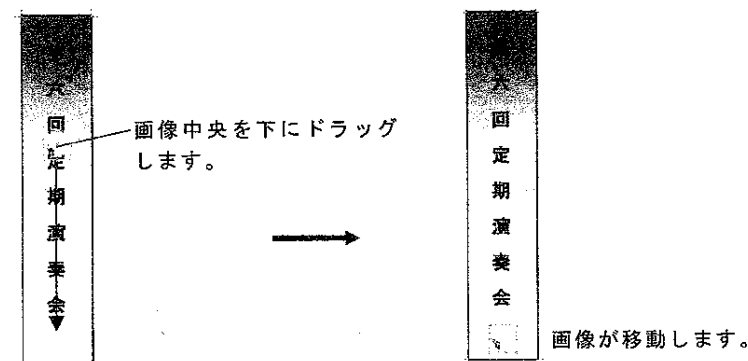


2. [部品(P)][画像のパーツ呼出]を選択してカテゴリ選択ボタン▼をクリックして「花」を選択します。表示が切り替わったら画像をクリックして<OK>ボタンをクリックします。

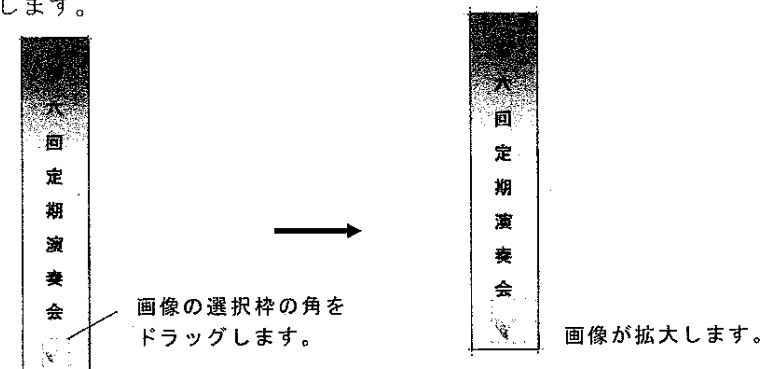


画像を移動してサイズを変更しましょう

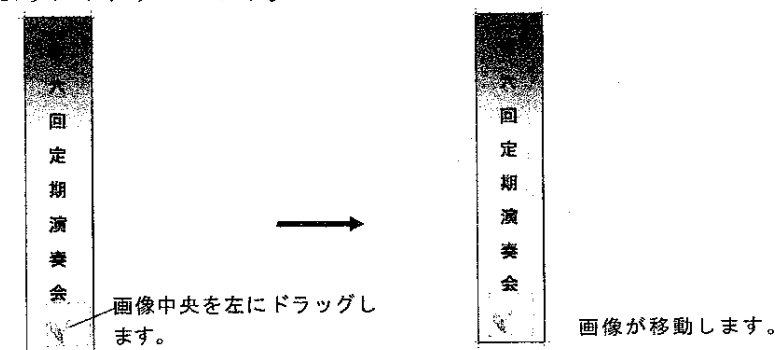
1. マウスカースルを画像の中心に移動して形状が  になったらドラッグします。



2. マウスカースルを画像選択枠の角に移動し形状が  になったらドラッグして拡大します。

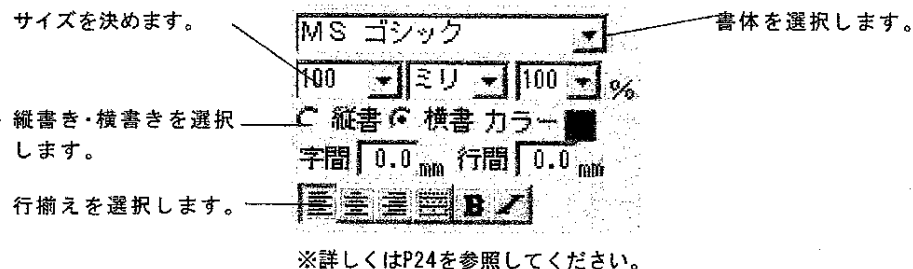


3. マウスカースルを画像の中心に移動して形状が  になったら用紙中央に配置するようにドラッグします。



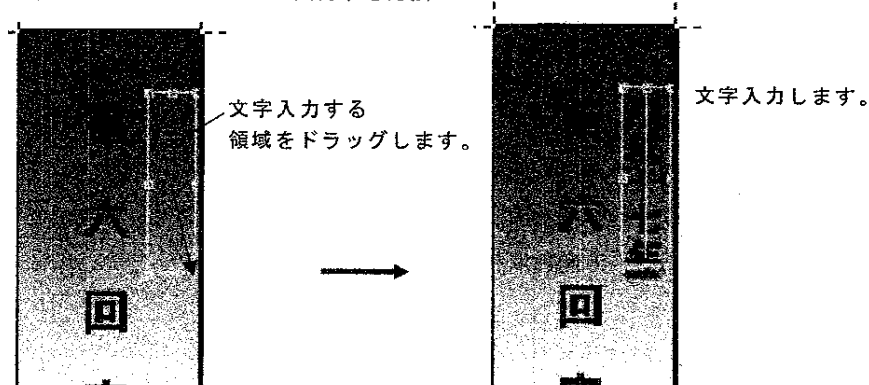
文字列を追加しましょう

1. 文字パレットを選択して書体、サイズ、など各設定を決めます。

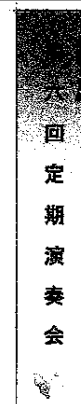
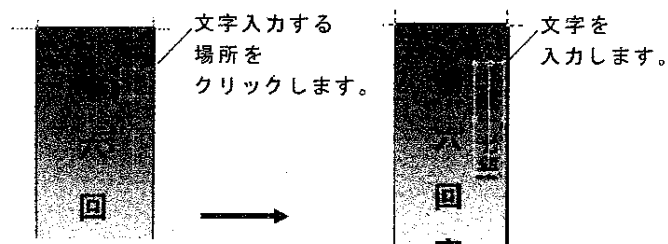


2. 文字入力アイコン **A** をクリックします。

● 文字入力領域をドラッグして入力する方法



● 作図画面をクリックして入力する方法

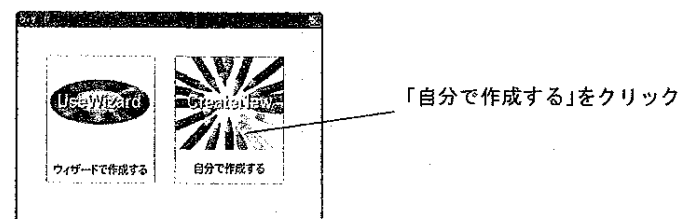


レイアウト変更が完成!

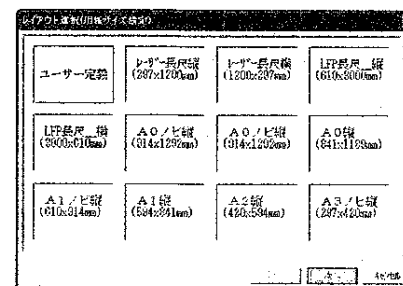
「自分で作成する」でレイアウトを作成しましょう

長尺FACTORYを起動すると「ウィザードで作成する」と「自分で作成する」のダイアログが表示されます。

1. 下記ダイアログが表示されますので「自分で作成する」を選択します。



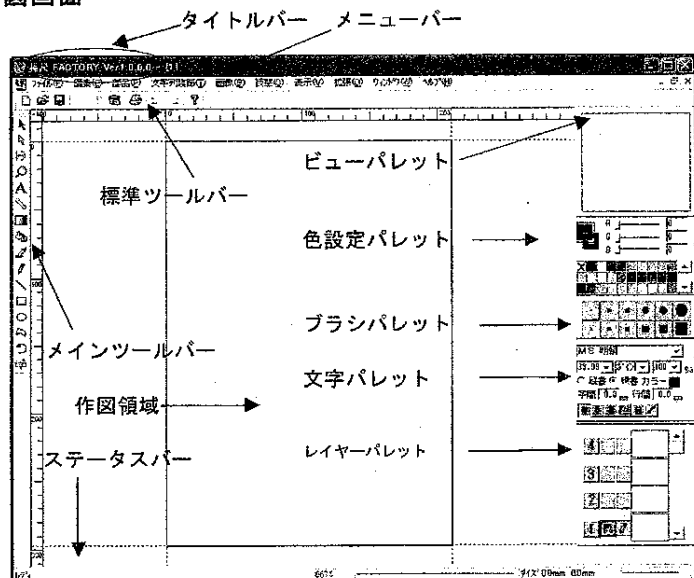
2. 「レイアウト選択(用紙サイズ設定)」のダイアログボックスが表示されます。各種用紙サイズを選択し<次へ>をクリックすると指定したサイズになります。



3. 長尺FACTORY作図画面が表示されます。文字、画像をレイアウトして印刷しましょう。

コマンド一覧

作図画面



タイトルバー

アプリケーションソフトの名称やファイル名を表示します。

メニューバー

アプリケーションの操作項目を選択します。(メニュー一覧参照)

標準ツールバー

ファイル操作項目の各ツールです。



- 新規ファイル...ファイルを新規に作成します。
- 開く...保存したファイルを選択して呼び出します。
- 保存...作成したファイルを上書き保存します。はじめて保存する場合は「名前を付けて保存」と同じ機能になります。
- 切り取り...選択したオブジェクトを削除しクリップボードに移動します。
- コピー...選択したオブジェクトをクリップボードにコピーします。
- 貼り付け...クリップボードにコピーされているオブジェクトを貼り付けます。
- 印刷...ファイルをプリンタに印刷します。
- 元に戻す...操作の結果が意図と違った場合、操作を1つ前にもどします。
- やり直し...元に戻すで戻した操作を再度やり直します。
- ヘルプ...ヘルプファイルを表示します。

メインツールバー

文字、図形、ペイント機能などの各ツールです。

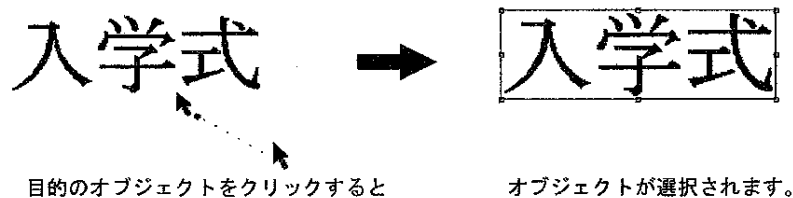
- オブジェクト選択...オブジェクトを選択、変形、移動します。
- 点操作...アウトライン図形の点を移動します。
- 曲線直線切替え...曲線は直線、直線は曲線に変更します。
- 拡大表示...表示を拡大します。
- 文字入力...文字列を入力します。
- 定規...データの寸法を表示します。
- グラデーション...グラデーションを作成します。
- 塗潰し...図形データを塗潰します。
- スポイト...色情報を表示します。
- フリーハンド...自由線を作成します。
- 直線...直線を作成します。
- 矩形...矩形(四角)を作成します。
- 楕円...楕円を作成します。
- 連続線...連続線を作成します。
- 回転...データを回転します。
- 鏡...データを水平方向に反転します。

オブジェクト選択

文字、図形、画像を選択します。選択後、変形、移動、コピー、削除することができます。

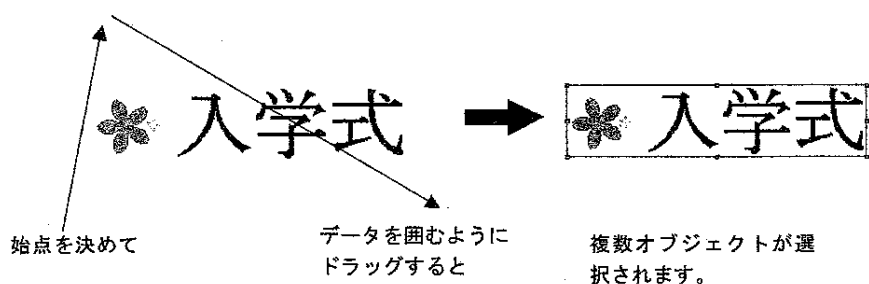
オブジェクトを選択するには

1. オブジェクト選択アイコン  をクリックします。
2. カーソルをデータ上に移動しカーソル表示が  に変わったところでクリックするとデータが選択されます。



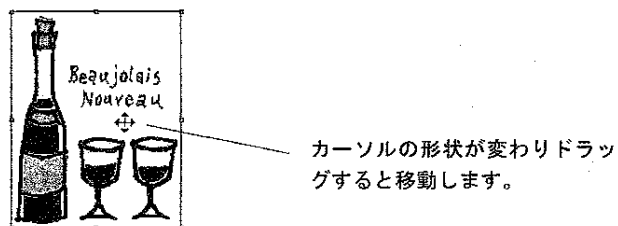
オブジェクトを複数選択する場合

1. オブジェクト選択アイコン  をクリックします。
2. 複数オブジェクトを囲むようにドラッグするか、Shiftキーを押しながら複数オブジェクトをクリックします。



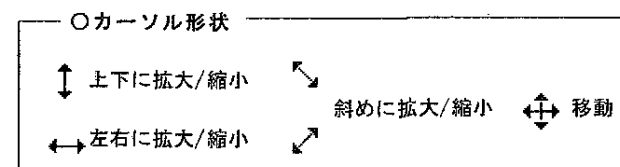
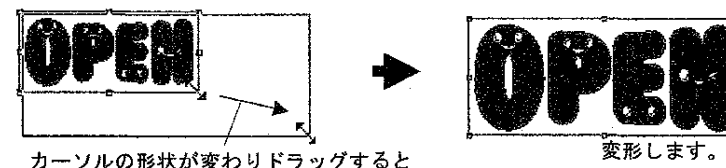
オブジェクトを移動する場合

1. 選択されたオブジェクトの内側にカーソルを移動しドラッグするとオブジェクトが移動します。



オブジェクトサイズを変更する場合

1. 選択されたオブジェクト枠のポイントにカーソルを移動しドラッグすると変形します。



オブジェクトを削除する場合

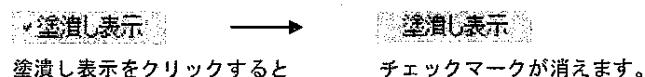
1. オブジェクト選択アイコン  をクリックします。
2. 削除するオブジェクトをクリックして選択します。
3. [Delete] キーを押すとデータが削除されます。

点操作

図形の点を編集することができます。

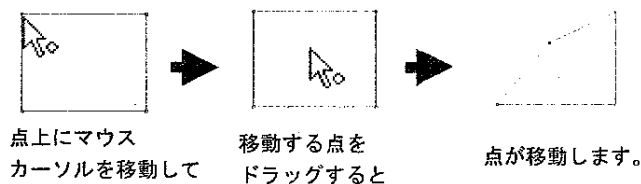
文字列の場合は一度図形に変換してから操作できます。

[表示] [塗潰し表示] のチェックマークを消すと点、線の属性が表示され操作し易くなります。



点を移動するには

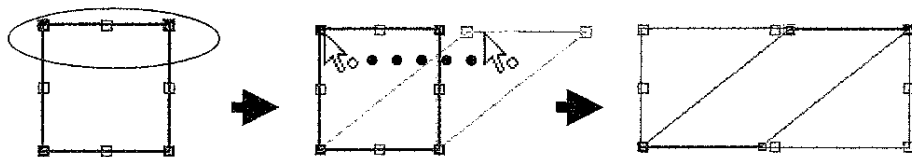
1. オブジェクト選択アイコン  をクリックします。
2. 図形をクリックします。
3. 点移動アイコン  をクリックします。
4. 点をドラッグすると点が移動します。



※Shiftキーを押しながら操作すると垂直、水平に移動できます。

複数点を移動するには

1. 点操作アイコン  をクリックします。
2. 移動する点を囲むようにドラッグするか、Shiftキーを押しながら複数点をクリックして選択します。
3. 色が変わった点をドラッグすると複数移動することができます。



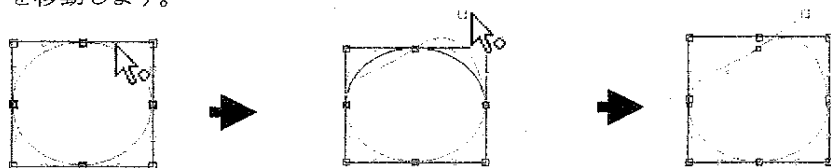
移動する点を囲むようにドラッグします。

色が変わった点をドラッグします。

複数の点が移動します。

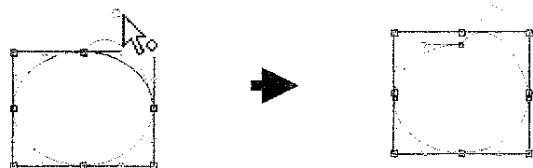
曲線のコントロールポイントの点を移動するには

1. 点操作アイコン  をクリックします。
2. 曲線のコントロールポイントの点をドラッグすると曲線の形状を変化しながら点を移動します。



コントロールポイントをドラッグします。
連続する曲線の場合は反対側のコントロールポイントも直線上に移動します。

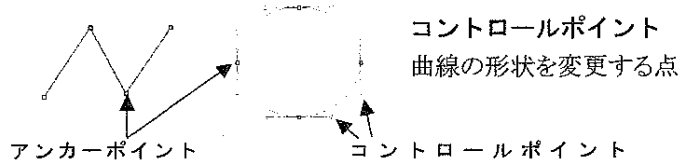
隣の曲線の形状を変更して点が移動します。



Ctrlキーを押しながらコントロールポイントをドラッグすると、反対のコントロールポイントは移動されません。

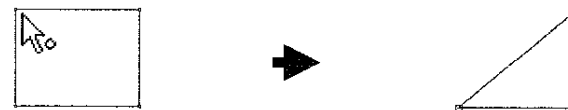
曲線の形状を変更して点が移動します。

アンカーポイント
直線、曲線上にある線分を構成する点。



点を削除するには

1. 点操作アイコン  をクリックします。
2. 削除する点上をクリックします。選択された点の色が変わります。
3. Deleteキーを押すと削除されます。

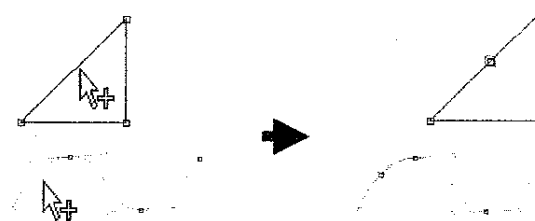


削除する点上でクリックします。

Deleteキーを押すと削除されます。

点を追加するには

1. 点操作アイコン  をクリックします。
2. 追加したい線上でクリックすると点が追加されます。



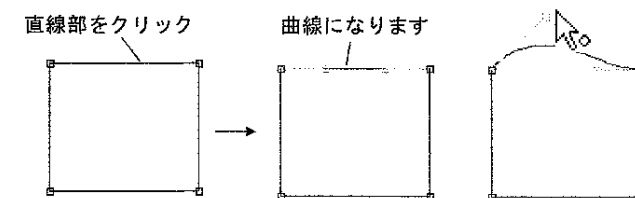
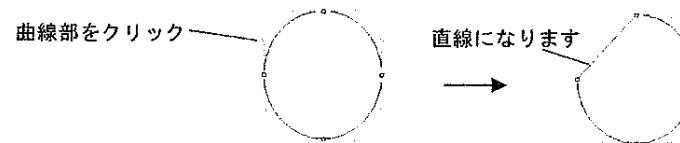
点のない線上をクリックします。

点が追加されます。

曲線直線切替え

図形の直線を曲線にし、曲線を直線に変更します。
文字列の場合は一度図形に変換してから操作できます。

1. 編集するデータを選択します。
2. アイコン  をクリックします。
3. 線をクリックすると属性が変更されます。



点移動で点を移動すると形を変えることができます。

拡大表示

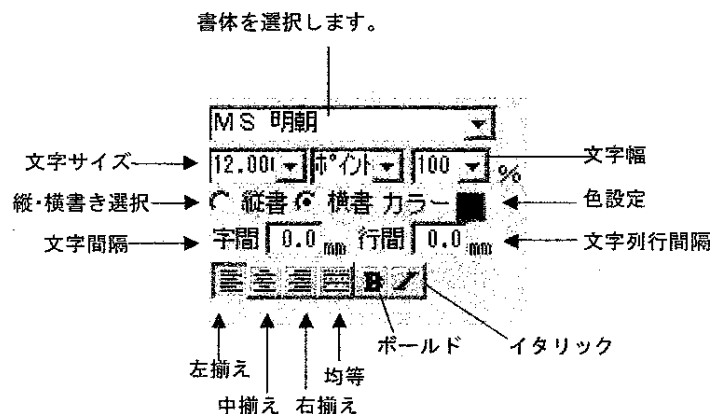
表示を拡大・縮小します。

1. 拡大表示アイコン  をクリックします。
2. マウスポインタが  の状態になり、画面上をクリックすると拡大表示します。
また、拡大したい部分をドラッグすると囲まれた部分が拡大表示されます。
3. Ctrlキーを押すと  の状態になりCtrlキーを押しながらクリックすると縮小表示します。

文字入力

文字列を入力します。

1. 文字パレットの設定をします。



2. 文字列アイコン  をクリックします。

3. 入力位置をクリックして入力する方法

- ① 作図画面上でクリックします。

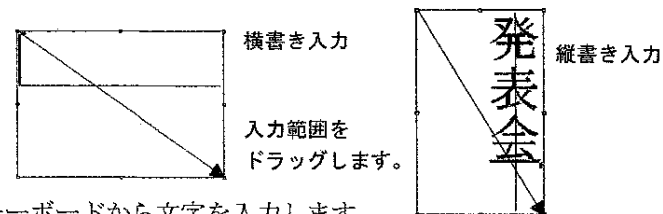


- ② キーボードから文字を入力します。

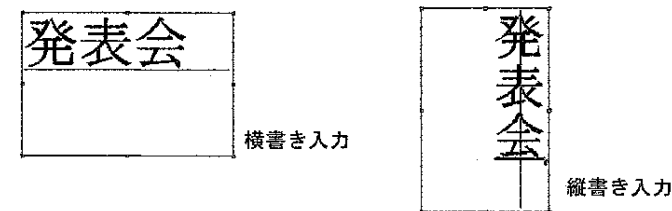


入力範囲をドラッグして入力する方法

- ① 作図画面上で入力する範囲をドラッグします。

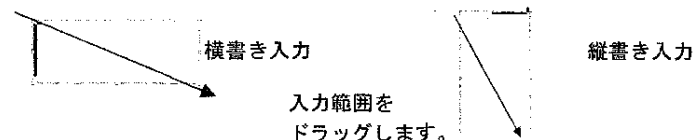


- ② キーボードから文字を入力します。

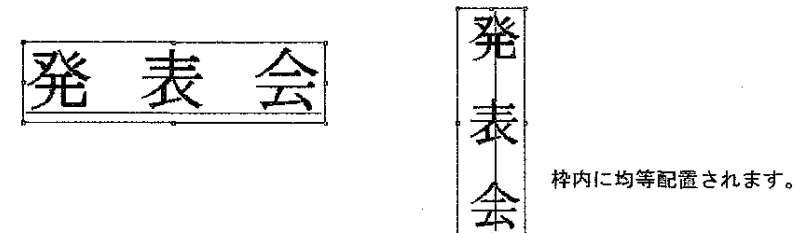


均等割付で入力する方法

- ① 文字揃アイコンの均等  を選択します。
- ② 作図画面上で入力する範囲をドラッグします。



- ③ キーボードから文字を入力します。



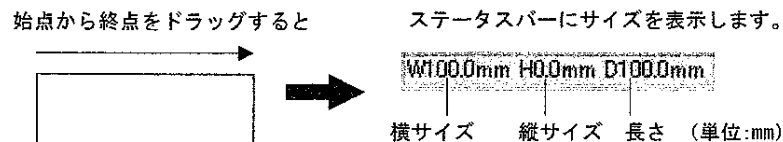
※入力済の文字列を修正するときはオブジェクト選択ツールを選択し文字列をダブルクリックして編集することができます。

※文字列を鏡、四角変形、円弧変形や図形に変換などでアウトライン化されたあとは文字列を修正できなくなります。また変換後多少デザインがくずれる書体もあります。

定規

オブジェクトの間隔や大きさを計ります。

1. 定規アイコン  をクリックします。
2. サイズを測るデータの始点、終点をドラッグします。
3. ステータスバーに縦、横、長さを表示します。

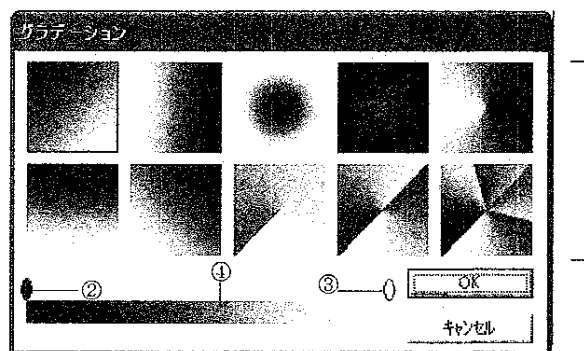


グラデーション

オブジェクトをグラデーション表示にします。

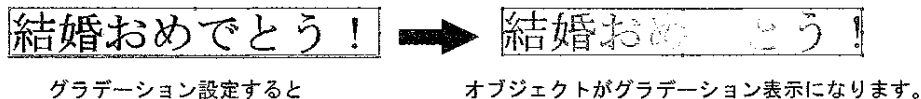
1. オブジェクト選択ツール  でオブジェクトを選択します。
2. グラデーションアイコン  をクリックするとグラデーションダイアログボックスが表示されます。

※文字列の場合、「文字が図形に変換されますがよろしいですか」のメッセージが表示されます。



① パターンをクリックします。

3. 上図①よりグラデーションパターンを選択します。
4. ②と③はグラデーションの始点と終点の色を設定します。
それぞれダブルクリックするとカラーパレットが表示されます。
また④をクリックすると中間の色を複数設定することができます。
5. ②から③までのグラデーションにカラーが表示されます。
6. <OK>をクリックするとグラデーション表示します。



グラデーション設定すると

オブジェクトがグラデーション表示になります。

塗潰し

選択している図形をカラーパレットの塗りの色で塗潰します。

1. 塗潰しアイコン  をクリックします。
2. 現在選択されている図形を色設定ツールバーで選択されている色で塗潰します。

スポイト

表示されている色情報を表示します。

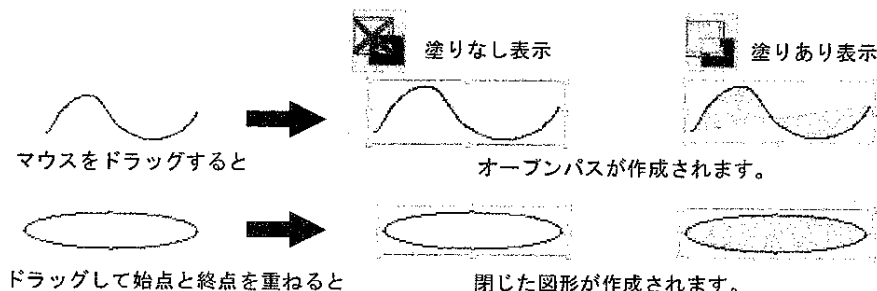
1. スポイトアイコン  をクリックします。
2. カーソルをデーター上に移動するとステータスバーに色情報を表示します。
クリックすると色パレットの塗りの色、または線の色に反映されます。



フリーハンド

ドラッグしながら自由な線を作成します。

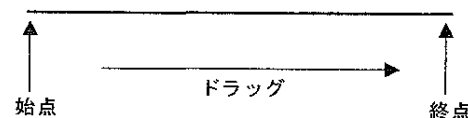
1. フリーハンドアイコン  をクリックします。
2. マウスをドラッグしながら自由な線を描きます。
線の太さはブラシツールバーまたは右クリックポップアップメニューの線幅変更で設定します。色は色設定ツールバーで設定します。



直線

直線を作成します。

1. 直線アイコン  をクリックします。
2. 直線の始点から終点をドラッグすると直線が作成されます。
垂直、水平線はShiftキーを押しながら作成できます。
線の太さはブラシツールバーまたは右クリックポップアップメニューの線幅変更で設定します。色は色設定ツールバーで設定します。



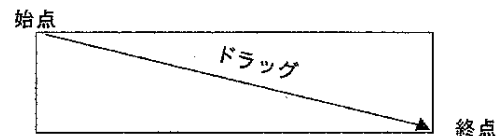
矩形

矩形を作成します。

1. 矩形アイコン  をクリックします。
2. 矩形の対角線上に始点から終点をドラッグすると矩形が作成されます。

Shiftキーを押しながら作成すると正方形になります。

線の太さはブラシツールバーまたは右クリックポップアップメニューの線幅変更で設定します。色は色設定ツールバーで設定します。



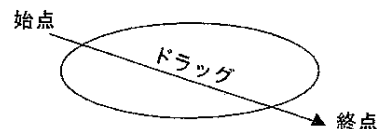
楕円

楕円を作成します。

1. 楕円アイコン  をクリックします。
2. 楕円の始点と終点をドラッグすると楕円が作成されます。

Shiftキーを押しながら作成すると真円になります。

線の太さはブラシツールバーまたは右クリックポップアップメニューの線幅変更で設定します。色は色設定ツールバーで設定します。

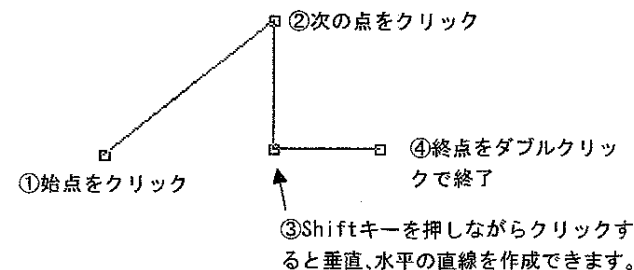


連続線

直線、曲線の連続する線を作成することができます。

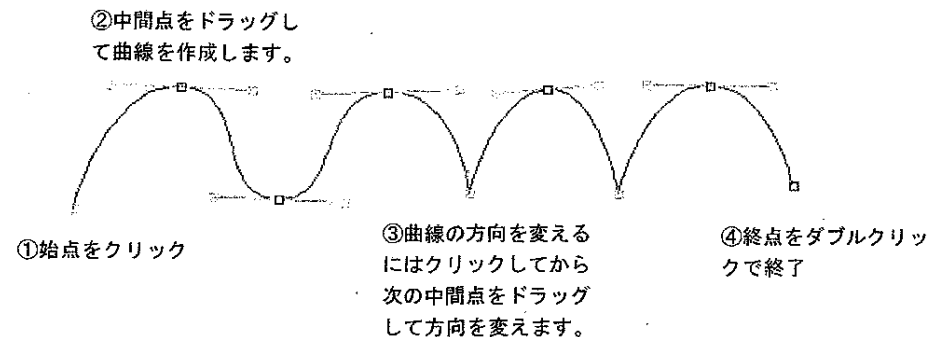
直線の作成

1. フリーハンドアイコン  をクリックします。
2. 始点をクリックして終点をクリックすると直線が作成されます。連続でクリックすると連続した直線が作成されます。終了するにはダブルクリックします。始点でダブルクリックすると閉じた図形が作成されます。



曲線の作成

1. フリーハンドアイコン  をクリックします。
2. 始点をクリックして次に曲線の間接点をドラッグするとコントロールポイントが表示されます。連続して間接点をドラッグするとスムーズな曲線が作成されます。方向を変えるときはクリックしてから次の間接点をドラッグします。終了するにはダブルクリックします。始点でダブルクリックすると閉じた図形が作成されます。

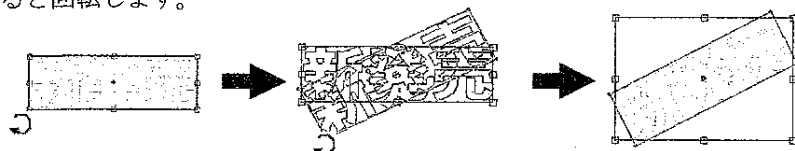


回転

データを回転します。

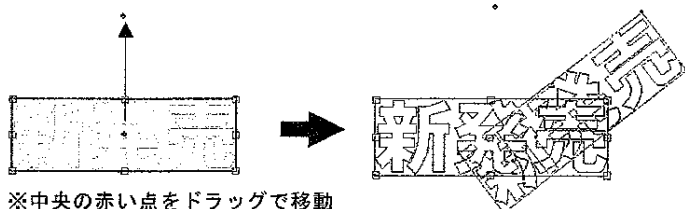
※画像データは90度毎のみ回転します。

1. 回転するデータを選択します。
2. 回転アイコン  をクリックします。
3. マウскарソルを選択枠の四隅に移動するとカーソル形状が変わり、ドラッグすると回転します。



マウскарソルを四隅に移動するとカーソル形状が変更されます。

ドラッグすると回転します。



※中央の赤い点をドラッグで移動すると支点を変更できます。

鏡

データを水平方向に反転します。

※文字列を鏡処理すると文字がアウトライン化されるため文字列の修正ができなくなります。
また変換後多少デザインがくずれる書体もあります。

1. 鏡にするデータを選択します。
2. 鏡アイコン  をクリックするとデータが水平方向に反転します。
※文字列の場合、「文字が図形に変換されますがよろしいですか」のメッセージが表示されます。



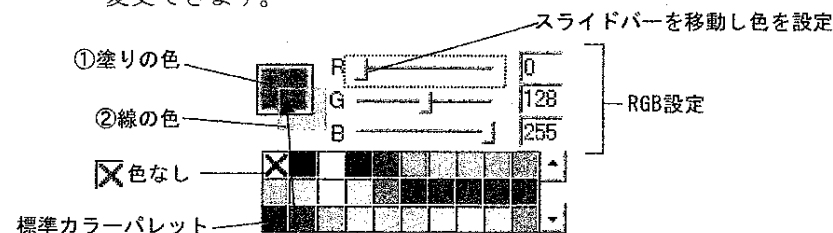
ステータスバー

コマンド選択時の説明等を表示します。

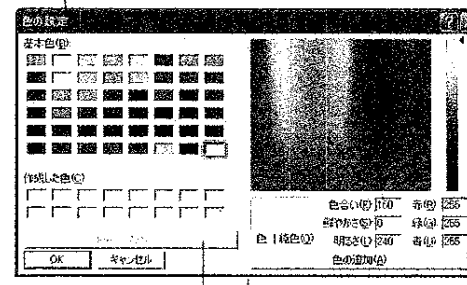
色設定パレット

オブジェクトの色を設定します。

1. オブジェクトを選択します。
2. 色設定パレットで塗り、線の色を設定します。
下図①塗りの色をクリックすると塗りの色、②線の色をクリックすると線の色を変更できます。



ダブルクリックすると色度合いを調整しオリジナルカラーを作成できます。

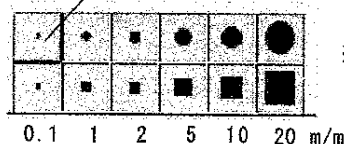


「色の作成」は常に表示した状態になります。

ブラシパレット

図形を作成するときにブラシパレットで線の形状、太さをを選択します。

現在選択されているブラシ形状が赤枠で表示されます。

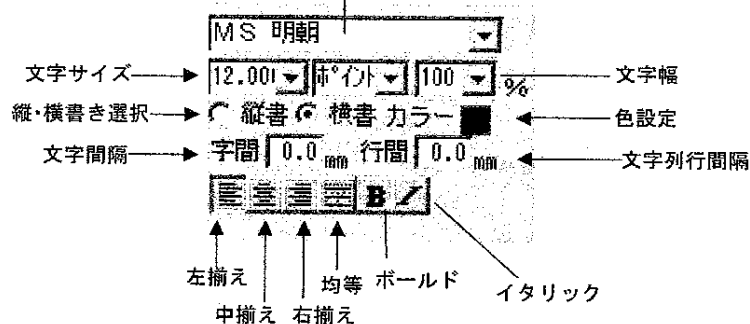


※数値入力するときは右クリックポップアップメニューの線幅変更を選択します。

文字パレット

書体名、サイズ、太さ等を設定します。

書体を選択します。



レイヤーパレット

新規ファイルを開くと、自動的にレイヤーが作成されます。

複雑なデータを作成するときは、オブジェクトを複数の階層(レイヤー)に分けて作業すると便利です。

レイヤーの順序、追加、削除は調整メニューから選択できます。

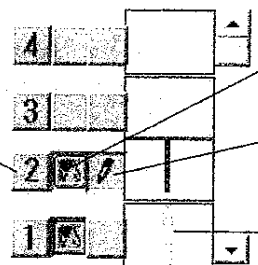
レイヤー番号

レイヤー番号を表示します。

レイヤー番号をクリックするとレイヤーをロックします。

ロックを解除するとレイヤー番号を表示します。

ロック:レイヤー内のオブジェクト編集など全ての操作ができなくなります。



表示ボタン
ONにするとデータを表示します。

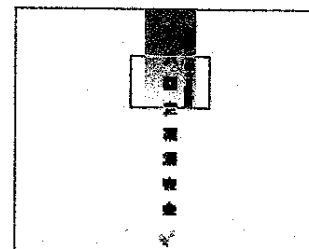
作図ボタン
選択したレイヤーを編集できます。

レイヤプレビュー
レイヤ内のデータを表示します。

※ウィザードから作成したときレイヤー 1 にフレーム、レイヤー 2 に文字、パーツが配置されます。

ビューパレット

画面表示を拡大したとき、どの位置を表示しているかを確認できます。



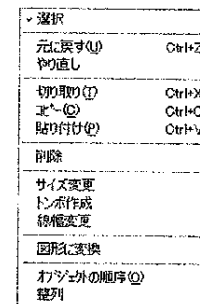
表示範囲

ドラッグで移動することができます。

右クリックポップアップメニュー

作図画面上で右クリックするとポップアップメニューを表示します。

ファイルメニューやアイコンを選択せずに下図一覧の編集ができます。



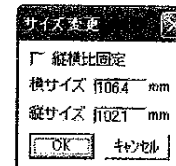
右クリックポップアップメニューにしかない機能です。

サイズ変更

オブジェクトのサイズを変更します。

すべてのオブジェクトに対して有効な機能です。

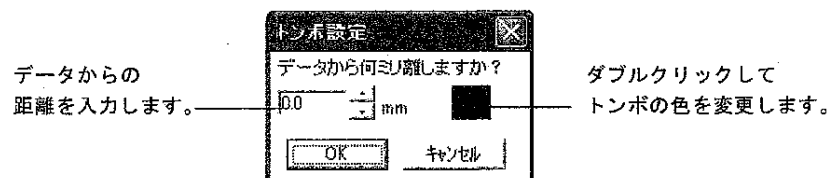
1. サイズ変更するオブジェクトを選択します。
2. 右クリックでポップアップメニューを表示させ[サイズ変更]を選択します。
3. サイズ変更ダイアログボックスが表示されます。
4. 縦横比固定にチェックマークを付けて横または縦サイズを入力すると縦または横サイズが同じ比率で数値が自動変換されます。
縦横比固定にチェックマークを消すと横サイズ、縦サイズを任意で入力できます。
5. 数値入力後<OK>ボタンをクリックするとサイズが変更されます。



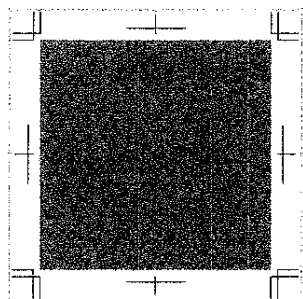
トンボ作成

オブジェクトに対してトンボ(断裁の位置のあたり)をつけることができます。

1. トンボを付けるオブジェクトを選択します。
2. 右クリックでポップアップメニューを表示させ[トンボ作成]を選択します。
トンボ設定ダイアログボックスのデータから距離、色を設定して<OK>ボタンをクリックします。



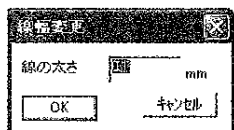
3. オブジェクトの各コーナーにトンボが配置されます。
トンボを削除するにはトンボを選択してDeleteキーで削除することができます。



線幅変更

描画ツール(直線、矩形、楕円)で作成したデータなどの線の幅を変更します。
文字列の線幅を変更する場合は一度図形に変換してから処理してください。

1. 線幅を変更するオブジェクトを選択します。
2. 右クリックでポップアップメニューを表示させ[線幅変更]を選択します。
3. 線幅変更ダイアログボックスが表示されます。



4. 線の太さを入力して<OK>ボタンをクリックするとオブジェクトの線の太さが変更されます。

図形に変換

文字列のアウトラインを作成します。

文字列の線に色を付けたり線幅を変更する場合に使用します。

また文字列をエクスポートでEPS保存する場合にも図形に変換を選択してアウトラインを作成してからEPSにエクスポートします。

1. アウトライン化する文字列を選択します。
2. 右クリックでポップアップメニューを表示させ[図形に変換]を選択します。
3. 文字列がアウトライン化されます。

※文字列を図形に変換すると文字がアウトライン化されるため文字列の修正ができなくなります。
また変換後多少デザインがくずれる書体もあります。

塗潰し表示 塗潰し表示ONの時

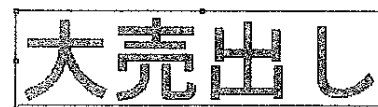


【変換前】
選択すると文字列のベースラインが表示されます。

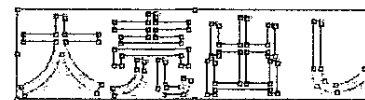


【変換後】
選択すると文字が赤枠で囲まれて表示されます。

塗潰し表示 塗潰し表示OFFの時



【変換前】
選択すると文字列のベースラインが表示され、文字がグレー色になります。



【変換後】
選択すると文字が赤枠で囲まれて点が表示されます

新規作成(N)	Ctrl+N
開く(O)	Ctrl+O
閉じる(C)	
上書き保存(S)	Ctrl+S
名前を付けて保存(A)	
MyEPSONデータ読込 画像ファイルの読込 画像ファイルへ保存	
TWAIN	
印刷設定(R)	
印刷プレビュー(V)	
印刷(P)	Ctrl+P
縮小印刷プレビュー(V)	
縮小印刷	
環境設定	
最近使ったファイル	
終了(Q)	

新規作成

レイアウト画面を新規に作成する機能です。

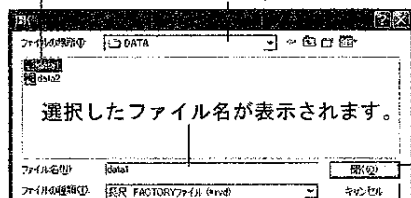
1. [ファイル(F)][新規作成(N)]を選択します。
2. 「ウィザードで作成する」、「自分で作成する」のダイアログが表示されます。
どちらかを選択してファイルを作成します。

開く

保存したファイルを選択して呼び出します。

1. [ファイル(F)][開く(O)]を選択します。
2. ファイルを選択して<開く>ボタンをクリックします。

保存されているファイル名が表示されます。
フォルダを選択します。



<開く>ボタンをクリックすると選択したファイルが開きます。

閉じる

現在選択されているファイルを閉じます。

1. [ファイル(F)][閉じる(C)]を選択するとファイルが閉じます。

上書き保存

レイアウトに名前がついている場合は上書き保存するとそのまま保存されます。

名前がついていない場合は名前をつけて保存することができます。

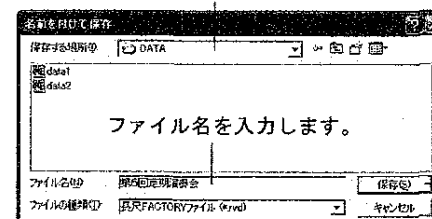
1. [ファイル(F)][上書き保存(S)]を選択します。

名前を付けて保存

レイアウトに名前を付けて保存します。

1. [ファイル(F)][名前を付けて保存(A)]を選択します。
2. 保存先のフォルダを選んで、ファイル名に名前を入力し<保存>をクリックすると保存されます。

保存する場所を選択します。



<保存>ボタンをクリックすると保存されます。

「MyEPSON」データ読込

※現在は「MyEPSON」の素材&フレームワークサービスは中止になっております。

1. [ファイル(F)][「MyEPSON」データ読込]を選択します。
2. MyEPSONログイン画面が表示されますので、ID、パスワードを入力してログインします。

※かんたんログイン機能を利用しているお客様は下記画面が表示されません。

ID IDを入力します。

パスワード パスワードを入力します。

ログインボタンをクリックします。

3. 素材&フレームワークサービスの画面が表示されます。

ファイルを選択するとファイルのダウンロードダイアログボックスが表示されますので<開く>ボタンをクリックします。再度同じダイアログが表示されますので<開く>ボタンをクリックすると長尺FACTORYの画面に取り込むことができます。

※通信の状態により多少時間がかかる場合があります

※<保存>ボタンで保存してから「画像ファイルの読込」で取り込むこともできます。

画像ファイルの読込

JPEG, TIFF, BMP, EPS, PNGの他アプリケーションファイルを読込みます。

※LZW形式のデータを含むJPEG, TIFFは対象外になります。

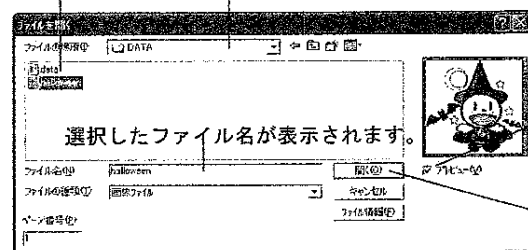
※EPSファイルはイラストレータVer8.0までの形式をサポートしております。(グラデーションメッシュはサポートしていません)

※PhotoShopEPSファイルはサポートしていません。

1. [ファイル(F)][画像ファイルの読込]を選択します。
2. 画像ファイルがある保存場所を選択し、ファイルをクリックするとプレビューウィンドウに内容が表示されます。
3. <開く>ボタンをクリックするとファイルが開きます。

保存されているファイル名が表示されます。

フォルダを選択します。



チェックをつけると選択したファイルをプレビューします。

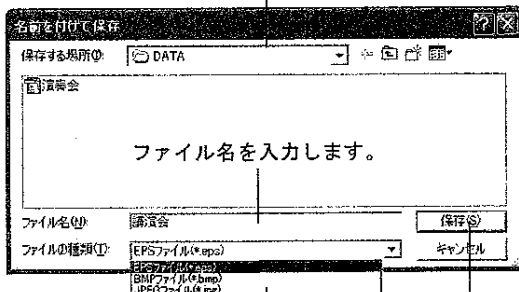
<開く>ボタンをクリックすると選択したファイルが開きます。

画像ファイルへ保存

JPEG, BMP, EPSファイルに変換し保存します。

1. [ファイル(F)][画像ファイルへ保存]を選択します。
2. 保存先のフォルダを選んで、ファイル名に名前を入力し<保存>をクリックすると保存されます。

保存する場所を選択します。



<保存>ボタンをクリックすると保存されます。

ファイルの種類を選択します。

画像、フォント、図形を同一ファイルに保存することはできません。

BMP、JPEG形式は画像のみ対象。

フォント、図形は対象外になります。

EPS形式はアウトライン図形のみ対象。

フォント、画像は対象外になります。

※フォントをEPS形式で保存するには図形に変換、鏡などアウトライン処理したもののみが保存対象となります。

TWAIN

EPSONスキャナの設定および入力を行います。

※24bitカラー以上、8bit白黒以上は対応していません。

※A4サイズ600dpi以上のサイズで入力すると[BMP用のメモリが確保できません]のメッセージが表示される場合があります。その場合は解像度を下げて入力してください。

TWAIN選択をしてTWAIN入力をします。

1. [ファイル(F)][TWAIN][TWAIN選択]を選択し設定されているTWAINを選択します。
2. [ファイル(F)][TWAIN][TWAIN入力]を選択すると専用のTWAINプログラムが起動します。

画像取り込み方法はアプリケーションごと異なるので、付属しているマニュアルを参照してください。

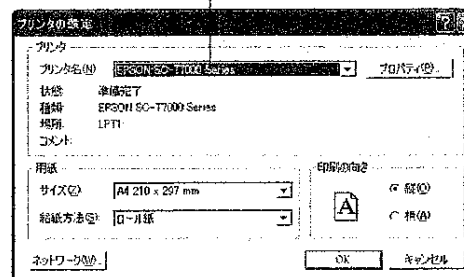
印刷設定

出力するプリンタの設定をします。

※用紙サイズ、給紙方法は印刷時に自動で設定されます。

1. [ファイル(F)][印刷設定(R)]を選択します。
2. プリンターの設定のダイアログボックスが表示されますのでエプソンプリンタを選択し<OK>ボタンをクリックします。

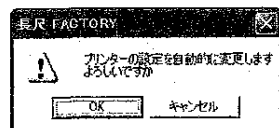
EPSONプリンタを選択します。



印刷プレビュー

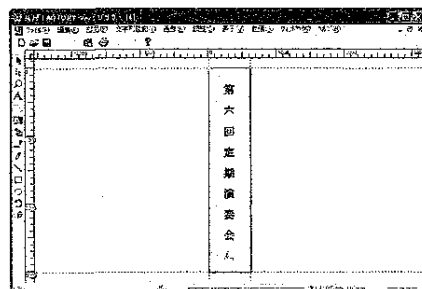
出力結果が画面で確認できます。

1. [ファイル(F)][印刷プレビュー(V)]を選択します。
2. プリンタの自動設定ダイアログボックスが表示されたら<OK>ボタンをクリックします。



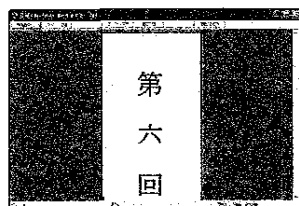
※用紙サイズ、給紙方法が自動で設定されます。

3. 画面にプレビューが表示されます。
4. <印刷>ボタンをクリックすると印刷を開始します。<閉じる>ボタンをクリックすると印刷を行わずメイン画面に戻ります。

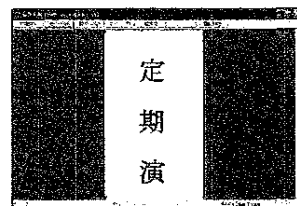


【長尺FACTORY作図画面】

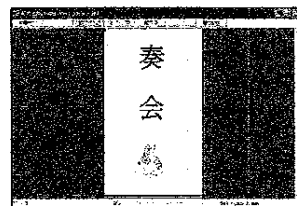
(例) 作図サイズ横600ミリ、縦3000ミリ
プリンタPX7500



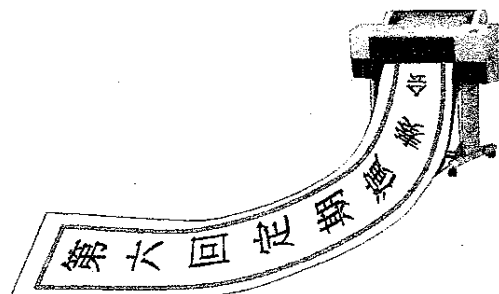
【1 ページ】



【2 ページ】



【3 ページ】



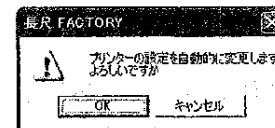
印刷時は1ページから3ページが1枚分として印刷されます。

※長尺モード以外の給紙方法では、分割して印刷されます。

印刷

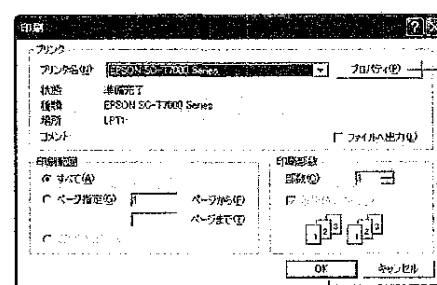
レイアウトを印刷します。

1. [ファイル(F)][印刷(P)]を選択します。
2. プリンタの自動設定ダイアログボックスが表示されたら<OK>ボタンをクリックします。

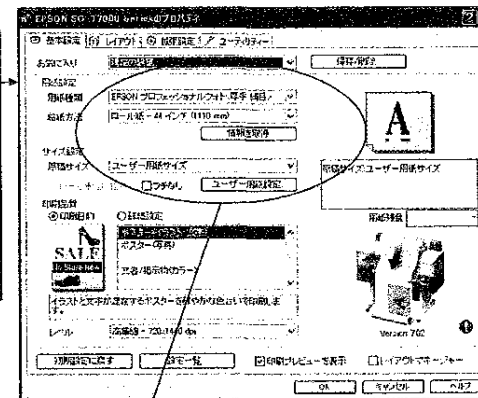


※用紙サイズ、給紙方法が自動で設定されます。

3. 印刷のダイアログボックスが表示されますので必要な項目を再度確認して<OK>ボタンをクリックします。



<OK>ボタンをクリックすると印刷を開始します。



長尺モードがあるプリンタはこの設定が変更になります。

※プリンタ設定の用紙幅より大きな作図エリアの場合は30mmの糊しろが付いて分割印刷されます。

縮小印刷プレビュー

縮小印刷の出力結果が画面で確認できます。

1. [ファイル(F)][縮小印刷プレビュー]を選択します。
2. 作図エリア内のデータが1ページ分に縮小して表示されます。
3. <印刷>ボタンをクリックすると印刷を開始します。<閉じる>ボタンをクリックすると印刷を行わずメイン画面に戻ります。

縮小印刷

プリンタ用紙サイズ内に納まるように縦横比を固定して縮小して印刷します。

1. [ファイル(F)][縮小印刷]を選択します。
2. 印刷のダイアログボックスが表示されますので必要な項目を設定し<OK>ボタンをクリックします。
3. 作図エリア内のデータがプリンタ設定の用紙サイズ内に縮小して印字されます。

環境設定

画面作図サイズ、データファイル位置、作業ファイル保存位置などを設定します。

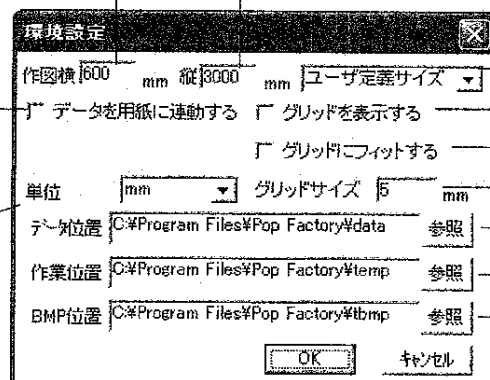
1. [ファイル(F)][環境設定]を選択します。
2. 環境設定ダイアログボックスが表示されますので必要な項目を設定して<OK>ボタンをクリックします。

任意の数値を入力して変更することができます。

用紙横サイズ 用紙縦サイズ

作図エリアにデータがある場合、チェックを付けて用紙サイズを変更するとデータが変更したサイズに変倍されます。

単位を選択
mm または inch



- 用紙を選択
- グリッドを表示
- グリッドに吸着
- グリッドサイズ設定
- データ保存位置
- 作業位置
- BMP作業位置

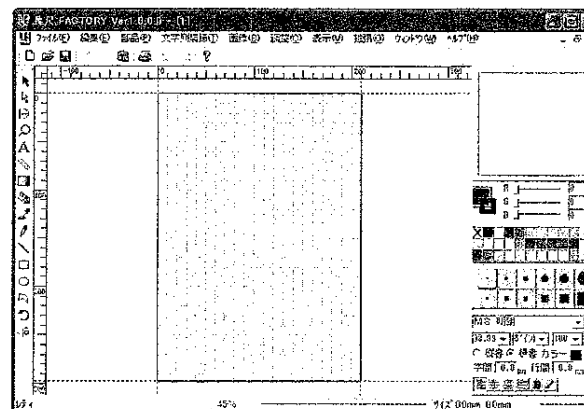
☐ グリッドを表示する

☐ グリッドにフィットする

グリッドサイズ 5 mm

「グリッドを表示する」にチェックマークを付けると作図画面上にグリッドサイズ間隔でグレーの格子状の線が表示します。

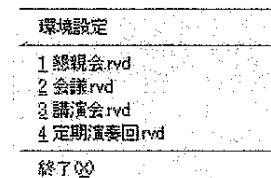
「グリッドにフィットする」にチェックマークを付けると図形作成、オブジェクト移動時にグリッドの交点に吸着します。移動時のオブジェクトの支点はオブジェクト左上になります。



最近使ったファイル

最近使用したファイルが4つまで表示され、ファイルを選択して直接開くことができます。

1. [ファイル(F)]を選択すると最近使ったファイル名が表示されます。



2. ファイルを選択するとファイルが開きます。

終了

アプリケーションを終了します。

1. [ファイル(F)][終了(X)]を選択するとアプリケーションが終了します。

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し	
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除	
すべて選択	
選択範囲の反転	

元に戻す

操作の結果が意図と違った場合、操作を1つ前の状態に戻すことができます。

1. [編集(E)][元に戻す(U)]を選択、または元に戻すのアイコンをクリックします。
2. 直前に行った操作が取り消されます。
30回前まで戻ることができます。

やり直し

[元に戻す]コマンドで元に戻した操作を再度やり直します。

[やり直し]は[元に戻す]コマンドを使用した直後から使用できます。

1. [編集(E)][やり直し]を選択、または、やり直しのアイコンをクリックします。
2. 元に戻した操作をやり直します。

切り取り

選択したオブジェクトやテキストを削除し、クリップボードに移動します。

1. [編集(E)][切り取り(T)]を選択、または切り取りのアイコンをクリックします。
2. データが作図画面から消えてクリップボードに移動します。

単一のオブジェクトまたはオブジェクトのグループを完全に削除するには、選択ツールを選んで[編集(E)][削除]をクリックします。

コピー

選択したオブジェクトやテキストをクリップボードにコピーします。

1. [編集(E)][コピー(C)]を選択、またはコピーのアイコンをクリックします。
2. データがクリップボードにコピーされます。

貼り付け

クリップボードにコピーされているオブジェクトを作図画面に貼り付けます。

1. [編集(E)][貼り付け(P)]を選択、または貼り付けのアイコンをクリックします。
2. 切り取りまたはコピーされたデータが貼り付けられます。

削除

選択されているデータを削除します。

1. [編集(E)][削除]を選択するとデータが削除されます。

すべて選択

作図画面上の全てのオブジェクトを選択します。

1. [編集(E)][すべて選択(A)]を選択すると全データが選択されます。

選択範囲の反転

現在選択されているデータ以外を選択します。

選択範囲の反転をすると現在指定しているデータは非選択状態になります。

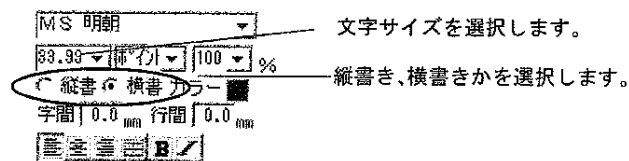
1. [編集(E)][選択範囲の反転]を選択すると選択データが逆になります。

文字列のパターン呼出 文字列のパターン保存 文字列のパターン削除
画像のパーツ呼出 画像のパーツ保存 画像のパーツ削除
ウィザード呼出 ウィザード保存 ウィザード削除

文字列のパターン呼出

文字入力パターンを選択し文字列を入力すると入力した文字列がパターン形式で変形されて表示します。

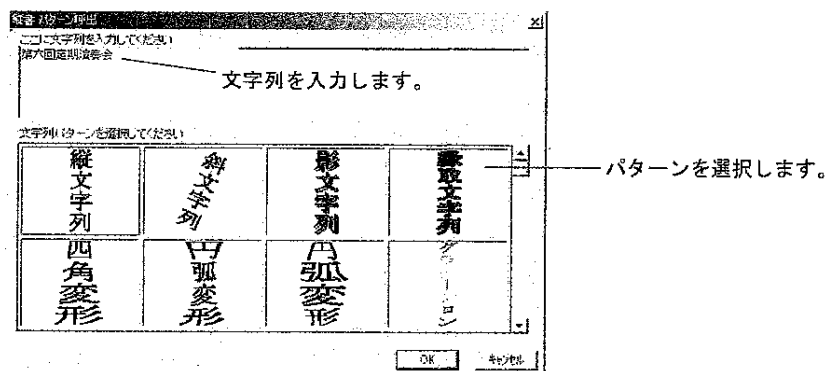
1. 文字サイズを選択し、文字パレットの縦書き、横書きのいずれかにチェックを入れます。



文字サイズを選択します。

縦書き、横書きかを選択します。

2. [部品 (P)] [文字列のパターン呼出] を選択します。
3. 文字列パターンを選択し、文字列を入力します。



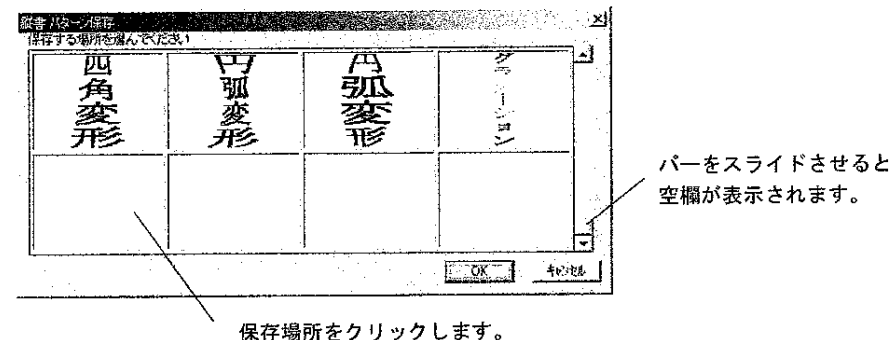
4. <OK> ボタンをクリックすると選択したパターンで文字列が表示されます。

※四角変形、円弧変形、グラデーションは確定後、文字属性が解除され図形に変換され文字列の修正はできなくなります。

文字列のパターン保存

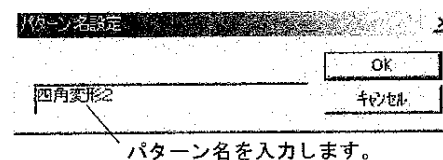
文字入力パターンを保存します。

1. 長尺FACTORYの作図画面で保存する文字列を選択します。
2. [部品 (P)] [文字列のパターン保存] を選択します。
3. 保存場所を選択して<OK> ボタンをクリックします。
登録済の場所を選択すると上書きされます。
空欄を選択すると新規に保存することができます。



保存場所をクリックします。

4. パターン名を入力して<OK> ボタンをクリックすると保存されます。



パターン名を入力します。

※文字列パターン呼出時にパターン名で昇順に並べ替えて表示されます。

文字列のパターン削除

パターンを一覧から選択して削除します。

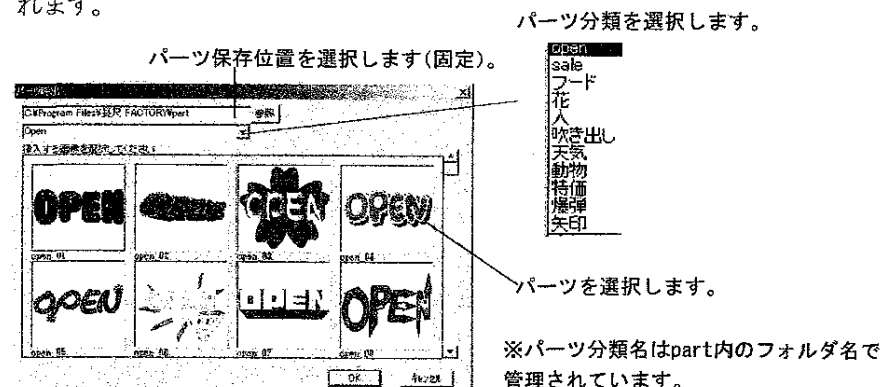
1. [部品 (P)] [文字列のパターン削除] を選択します。
2. 一覧から不要なパターンを選択し<OK> ボタンをクリックすると削除されます。

画像のパーツ呼出

長尺FACTORYに登録されている画像パーツを呼出します。

一般の画像ファイルは[ファイル][画像ファイル読込]で取り込みます。

1. [部品(P)][画像のパーツ呼出]を選択します。
2. 画像のパーツ保存位置と種類を選択します。
3. 一覧から画像を選択して<OK>ボタンをクリックすると選択した画像が表示されます。



画像のパーツ保存

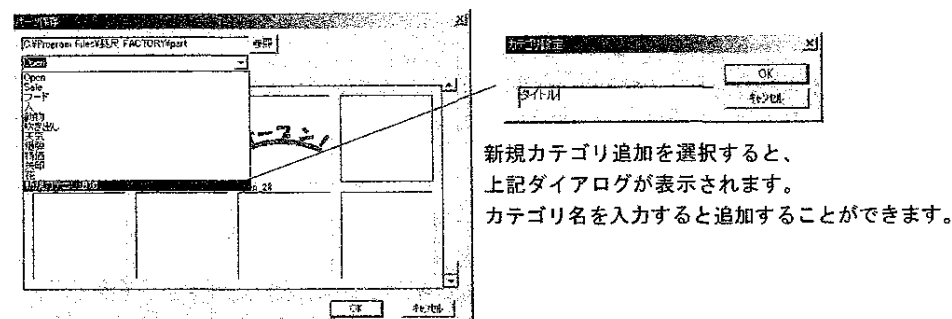
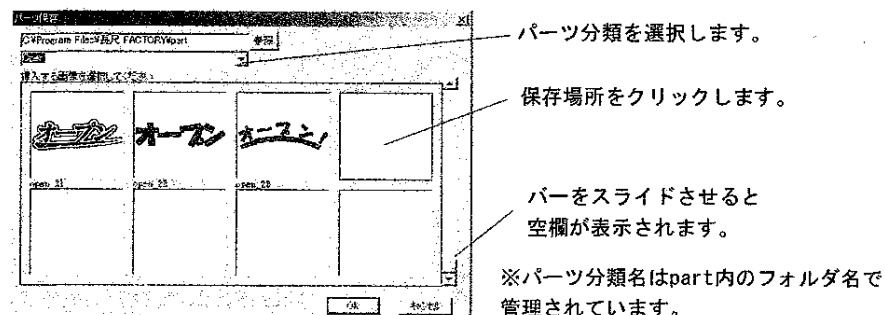
スキャナ等から取り込んだ画像をパーツとして保存します。

※保存するデータは1つの画像が対象になります。

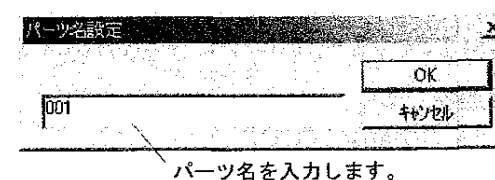
1. 保存する画像を選択します。
2. [部品(P)][画像のパーツ保存]を選択します。
3. パーツ分類を選択し一覧から保存する場所を選択して<OK>ボタンをクリックします。

登録済の場所を選択すると上書きされます。

空欄を選択すると新規に保存することができます。



4. パーツ名を入力して<OK>ボタンをクリックすると保存されます。



※画像のパーツ呼出時にパターン名で昇順に並べ替えて表示されます。

画像のパーツ削除

パーツを一覧から選択して削除します。

1. [部品(P)][画像のパーツ削除]を選択します。
2. 一覧から不要なパーツを選択し<OK>ボタンをクリックすると削除されます。

ウィザード呼出

ウィザードで作成する画面を表示します。

1. [部品(P)][ウィザード呼出]を選択します。

ウィザードで作成の画面が表示されます。

ウィザード保存

作成したレイアウトをウィザードで利用できる形式で登録します。

レイアウトの画像や文字などの位置情報がウィザードで利用することができます。

※レイヤー1はウィザードのベースになる背景(フレームなど)として登録します。

※レイヤー2～7はウィザードから読み込むパターン、パーツのサイズ、位置情報を保存します。

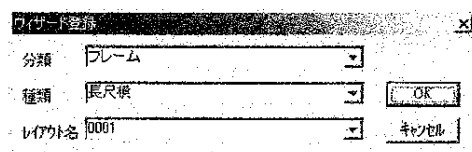
文字列はパターンのフォント名、文字サイズ、位置情報を保存します。

画像、図形(文字列を図形に変換、四角変形、円弧変形、回転、鏡などアウトライン化したもの)はパーツのサイズ、位置情報を保存します。

※保存後ウィザードから呼出される順番は下位のレイヤーとオブジェクトから呼び出されます。

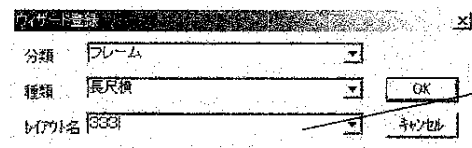
1. [部品(P)][ウィザード保存]を選択します。

ウィザード登録ダイアログボックスが表示されます。



2. 分類、種類を選択してレイアウト名に名前を入力して<OK>ボタンをクリックするとレイアウトパターンが登録されます。

分類、種類を追加する場合も同様にボックスに名前を入力すると新規登録できます。



レイアウト名を入力します。

ウィザード削除

ウィザードを一覧から選択して削除します。

1. [部品(P)][ウィザード削除]を選択します。

2. 一覧から不要なウィザードを選択して<OK>ボタンをクリックすると削除されます。

文字列装飾

線上に配置する
四角に変形する
円形に変形する
影を付ける
縁取りを付ける

線上に配置する

文字列を図形の線上に配置します。

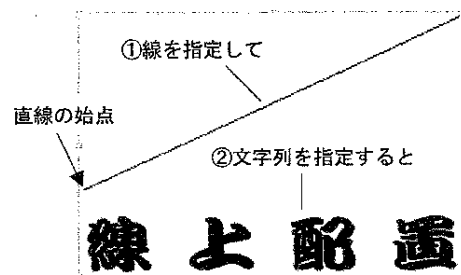
図形、文字列はあらかじめ作成してください。

1. 図形、文字列を選択します。
2. [文字列装飾(T)][線上に配置する]を選択します。
3. 線をクリックします。
4. 文字列をクリックすると文字列が線上に均等に配置されます。

※文字列は図形の始点を基準に配列されます。

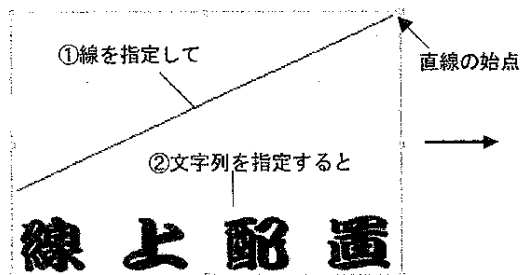
※1度に複数行入力した文字列は1行目の文字列のみ処理対象になります。

(例)左から右に作図した直線に文字列を配置



線上に文字列が配置されます。
※線上配置後、線は削除されます。

(例)右から左に作図した直線に文字列を配置



線上に文字列が180度反転して配置されます。
※線上配置後、線は削除されます。

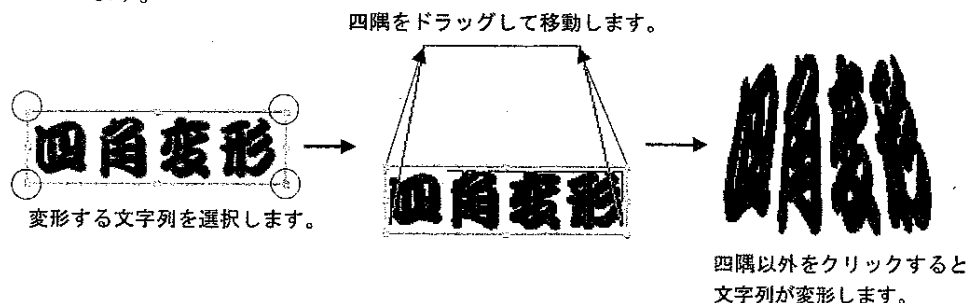
四角に変形する

文字列選択枠の四隅の支点を移動してデータを変形します。

※画像データは四角変形ができません。

※文字列を四角変形すると文字がアウトライン化されるため文字列の修正ができなくなります。また変換後多少デザインがくずれる書体もあります。

1. 変形する文字列を選択します。
2. [文字列装飾(T)][四角に変形する]を選択します。
※文字列の場合、「文字が図形に変換されますがよろしいですか」のメッセージが表示されます。
3. 選択枠の四隅の点を移動して、四隅以外の場所をクリックするとデータが変形します。



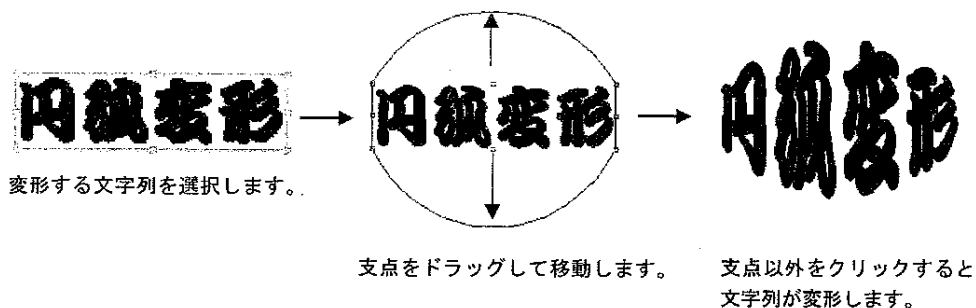
円弧に変形する

文字列選択枠の8つの支点を移動してデータを変形します。

※画像データは円弧変形できません。

※文字列を円弧変形すると文字がアウトライン化されるため文字列の修正ができなくなります。また変換後多少デザインがくずれる書体もあります。

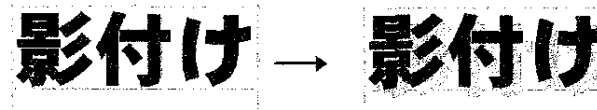
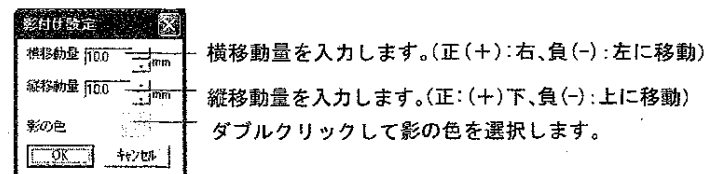
1. 変形する文字列を選択します。
2. [文字列装飾(T)][円弧に変形する]を選択します。
※文字列の場合、「文字が図形に変換されますがよろしいですか」のメッセージが表示されます。
3. 選択枠の8つの点を移動して、8つの点以外の場所をクリックするとデータが変形します。



影を付ける

文字列に影を付けます。

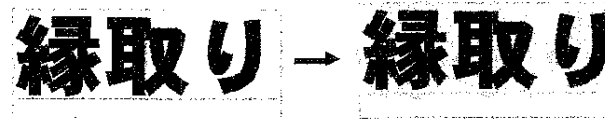
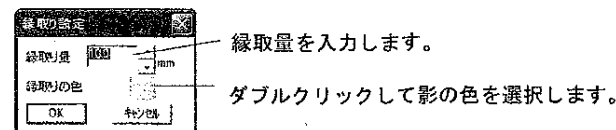
1. 影を付ける文字列を選択します。
2. [文字列装飾(T)][影を付ける]を選択します。
3. 影付けダイアログボックスが表示されます。
横と縦の移動量と影の色を指定して<OK>ボタンをクリックすると文字列に影が付きま。



縁取りを付ける

文字列を指定した距離に縁取りします。

1. 縁取りする文字列を選択します。
2. [文字列装飾(T)][縁取りを付ける]を選択します。
3. 縁取量と縁取りの色を指定して<OK>ボタンをクリックすると文字列が縁取られます。



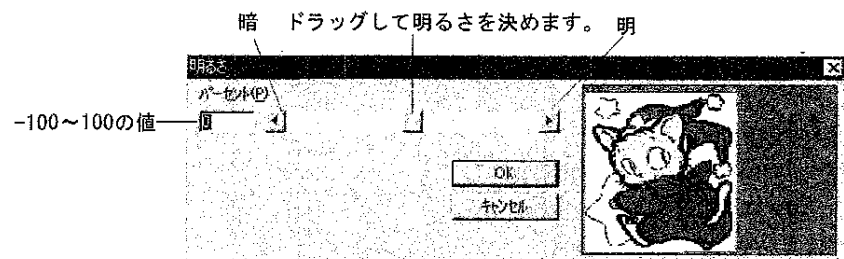
文字の輪郭が数値分縁取られます。

明るさ コントラスト ガンマ補正 解像度
クリッピング 領域指定クリッピング 色指定クリッピング クリッピング解除

明るさ

画像の明るさを調整します。

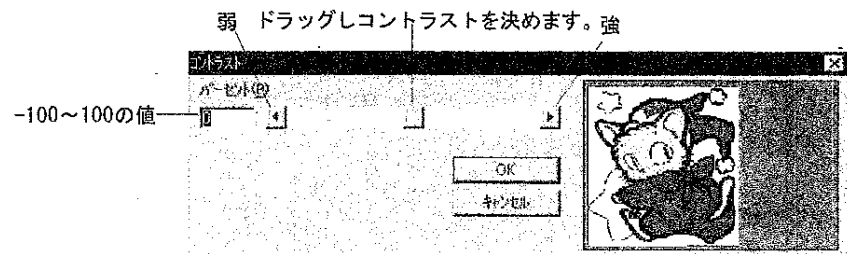
1. 画像データを選択します。
2. [画像(B)][明るさ]を選択します。
3. 明るさを調整するダイアログボックスが表示されますので、スライドバーを移動または数値を半角で入力して明るさを調整します。
4. <OK>ボタンをクリックすると画像の明るさが変更されます。



コントラスト

明暗の差の強弱を調整します。

1. 画像データを選択します。
2. [画像(B)][コントラスト]を選択します。
3. コントラストを調整するダイアログボックスが表示されますので、スライドバーを移動または数値を半角で入力してコントラストを調整します。
4. <OK>ボタンをクリックすると画像のコントラストが変更されます。



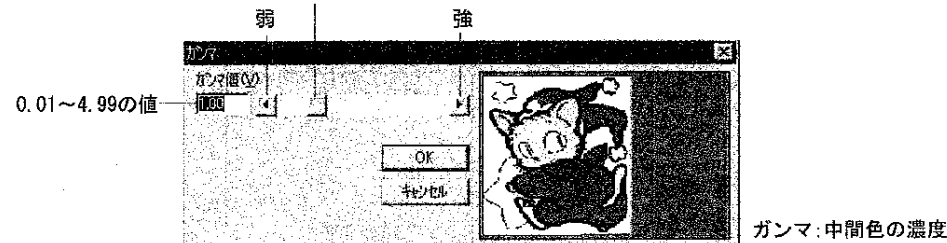
コントラスト: 明暗の差の強弱

ガンマ補正

画像の中間色の濃度を調整します。

1. 画像データを選択します。
2. [画像(B)][ガンマ補正]を選択します。
3. ガンマ値を調整するダイアログボックスが表示されますので、スライドバーを移動または数値を半角で入力してガンマ値を調整します。
4. <OK>ボタンをクリックすると画像のガンマ値が変更されます。

ドラッグしてガンマを決めます。



解像度

画像の解像度を設定します。

1. 画像データを選択します。
2. [画像(B)][解像度]を選択します。
3. 解像度を入力するダイアログボックスが表示されますので、解像度を入力します。
4. <OK>ボタンをクリックすると画像の解像度が変更されます。

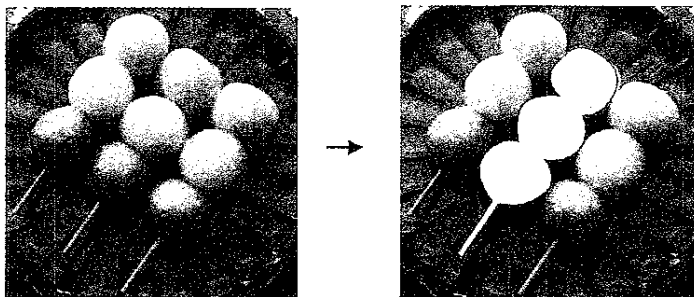


※解像度の数値が高すぎるとファイルサイズが大きくなるので印刷に時間がかかったり、ディスク空き容量が足りなくなったりする場合があります。

クリッピング

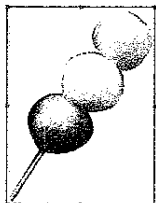
画像と図形を重ね合わせて画像の必要な部分のみを表示することができます。

1. 同一レイヤ上で、画像の上に図形を重ねます。

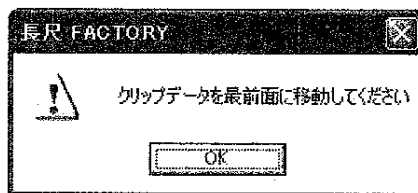


連続線などで切り抜く図形を作成します。

2. 画像とクリッピングする図形のみを選択します。
3. [画像(B)][クリッピング]を選択すると画像の上にある図形のみ表示します。



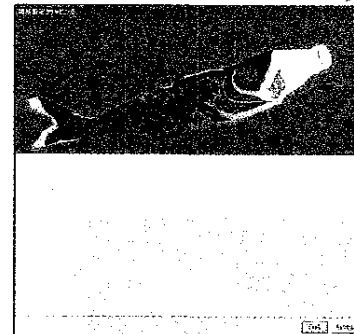
※クリップするデータが画像の下にある場合下記メッセージが表示されます。
調整のオブジェクトの順位でクリップデータを画像の上に配置してください。



領域指定クリッピング

画像上をなぞり、必要な部分を表示させることができます。

1. 画像を1つ選択します。
2. [画像(B)][領域指定クリッピング]を選択するとダイアログが表示されます。
3. マウスをドラッグすると色の境界線にフィットして描かれます。



4. 図形の描画を終了するには、右クリック、またはダブルクリックで終了します。
5. <作成>ボタンをクリックすると描画した部分が切り抜かれます。



※輪郭線の微調整は、点操作  で調整することができます。

色指定クリッピング

画像の背景色を選択して画像を切り抜きます。

1. 画像を選択します。



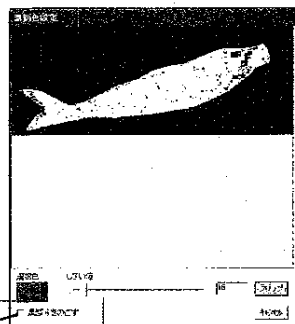
2. [画像(B)][色指定クリッピング]を選択すると識別色設定ダイアログボックスが表示されます。



- ① 切り取る背景色をクリックします。

- ② 選択色が表示されます。

チェックすると黒い部分を表示し、
チェックがないと白い部分を表示します。



- ③ しきい値を変更して選択範囲を調整します。

3. 「クリップ」ボタンをクリックすると選択色で切り抜かれます。



黒部分をのこす



黒部分をのこす

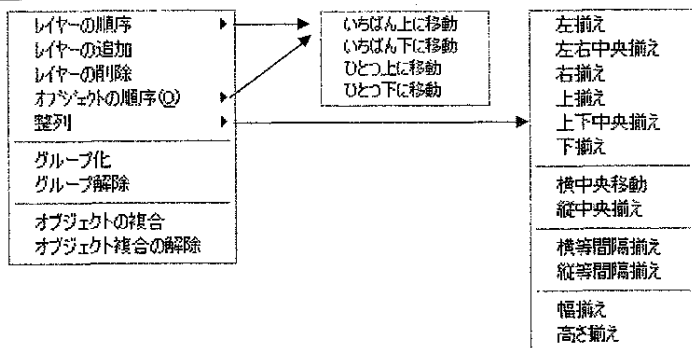
※輪郭線の微調整は、点操作 で調整することができます。

クリッピング解除

クリッピングデータを解除します。

1. 画像を選択します。
2. [画像(B)][クリッピング解除]を選択するとクリッピングが解除されます。

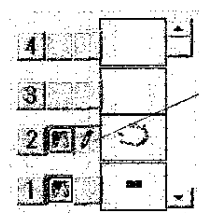
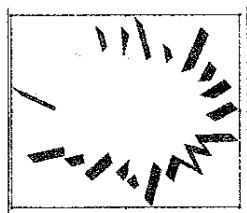




レイヤーの順序

レイヤーの順序を変更します。

1. 順序を変更するレイヤーをレイヤーツールバーより選択します。



変更するレイヤーを選択します。

2. [調整(C)][レイヤーの順序]を選択し順序を選択します。

いちばん上に移動...レイヤー表示のいちばん上に移動。

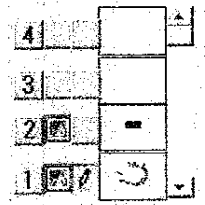
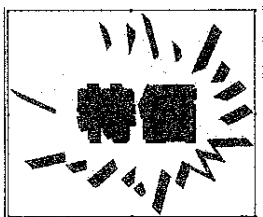
いちばん下に移動...レイヤー表示のいちばん下に移動。

ひとつ上に移動...現在選択されているレイヤーのひとつ上に移動。

ひとつ下に移動...現在選択されているレイヤーのひとつ下に移動

3. レイヤーが選択した場所に移動します。

(例)レイヤー2をいちばん下に移動

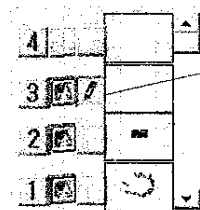
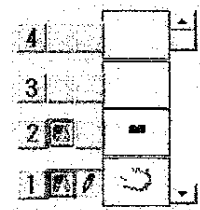


レイヤーの順番が入替ります。

レイヤーの追加

レイヤーを追加します。

1. [調整(C)][レイヤーの追加]を選択します。
2. レイヤーの一番上にレイヤーが追加されます。

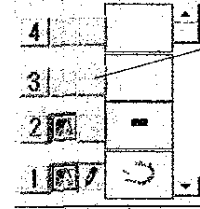
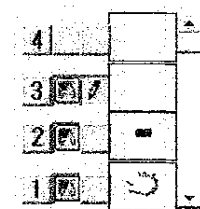


レイヤーが追加されます。

レイヤーの削除

レイヤーを削除します。

1. 削除するレイヤーをレイヤーツールバーより選択します。
2. [調整(C)][レイヤーの削除]を選択します。
3. 選択されていたレイヤーが削除されます。



レイヤーが削除されます。

オブジェクトの順序

現在選択されているレイヤー上にあるデータの表示順番を変更します。

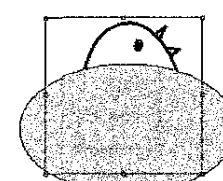
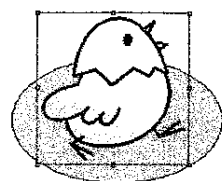
1. 順序を変更するデータを選択します。
2. [調整(C)][オブジェクトの順序]を選択し順位を選択すると入替ります。

いちばん上に移動...データ表示のいちばん上に移動。

いちばん下に移動...データ表示のいちばん下に移動。

ひとつ上に移動...現在選択されているデータのひとつ上に移動。

ひとつ下に移動...現在選択されているデータのひとつ下に移動。



ひとつ下に移動を選択するとデータがひとつ下に移動します。

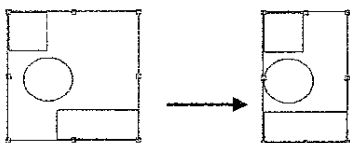
整列

オブジェクトの位置サイズ等を変更します。

左揃え

選択したオブジェクトの左側を揃えます。

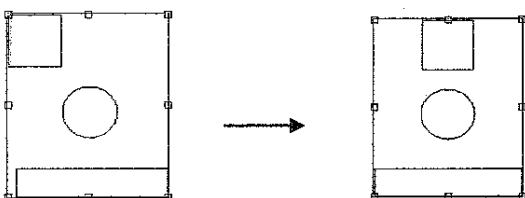
1. 整列するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][左揃え]を選択すると選択したオブジェクトが左に揃います。



左右中央揃え

選択したオブジェクトの左右中央を揃えます。

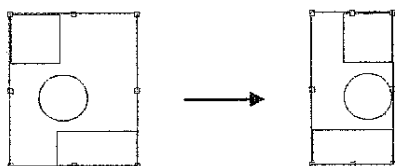
1. 整列するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][左右中央揃え]を選択すると選択したオブジェクトが左右中央に揃います。



右揃え

選択したオブジェクトの右側を揃えます。

1. 整列するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][右揃え]を選択すると選択したオブジェクトが右に揃います。



上揃え

選択したオブジェクトの上側を揃えます。

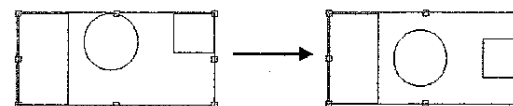
1. 整列するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][上揃え]を選択すると選択したオブジェクトが上に揃います。



上下中央揃え

選択したオブジェクトの上下中央を揃えます。

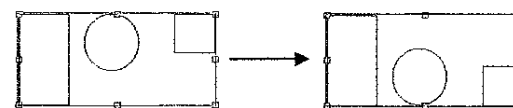
1. 整列するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][上下中央揃え]を選択すると選択したオブジェクトが上下中央に揃います。



下揃え

選択したオブジェクトの下側を揃えます。

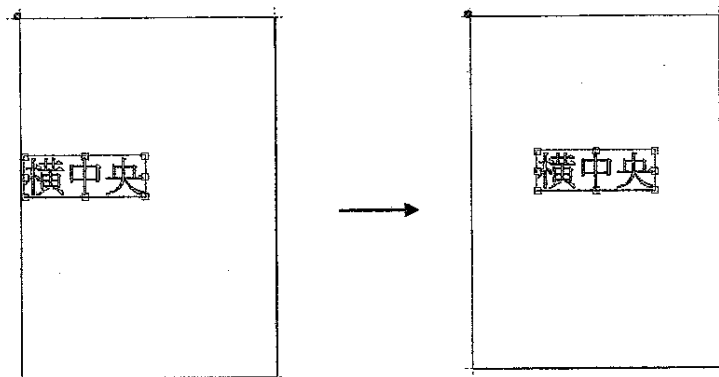
1. 整列するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][下揃え]を選択すると選択したオブジェクトが下に揃います。



横中央移動

選択したオブジェクトを用紙サイズの横中央に移動します。

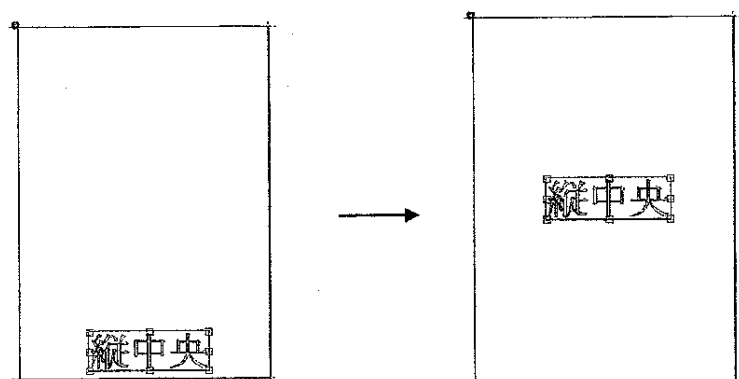
1. 移動するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][横中央移動]を選択するとオブジェクトが横中央に移動します。



縦中央移動

選択したオブジェクトを用紙サイズの縦中央に移動します。

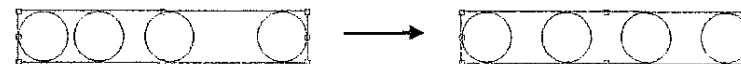
1. 移動するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][縦中央移動]を選択するとオブジェクトが縦中央に移動します。



横等間隔揃え

選択オブジェクトの左右のオブジェクトを基準に横間隔を均等に揃えます。

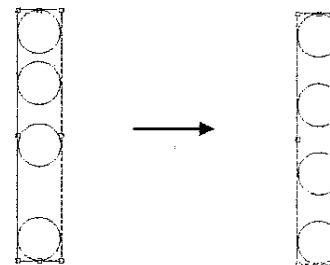
1. 整列するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][横等間隔揃え]を選択すると横間隔を均等に揃えます。



縦等間隔揃え

選択オブジェクトの上下のオブジェクトを基準に縦間隔を均等に揃えます。

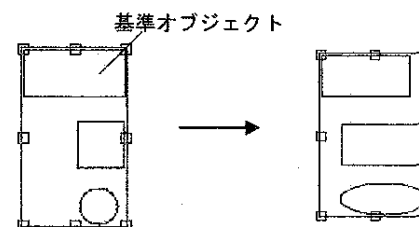
1. 整列するオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][縦等間隔揃え]を選択すると縦間隔を均等に揃えます。



幅揃え

基準オブジェクトの横幅に選択したオブジェクトの横幅を揃えます。

1. 横幅を揃えるオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][幅揃え]を選択して基準オブジェクトをクリックすると選択したオブジェクト幅が基準オブジェクトの横幅に揃います。



高さ揃え

基準オブジェクトの縦幅に選択したオブジェクトの縦幅を揃えます。

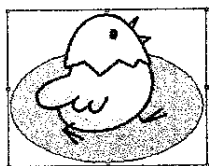
1. 高さを揃えるオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][整列][高さ揃え]を選択して基準オブジェクトをクリックすると選択したオブジェクト縦幅が基準オブジェクトの縦幅に揃います。



グループ化

複数のオブジェクトを1つのオブジェクトとして扱えるようにします。

1. グループ化する複数のオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][グループ化]を選択します。
3. 選択されているオブジェクトが1つのオブジェクトにグループ化されます。

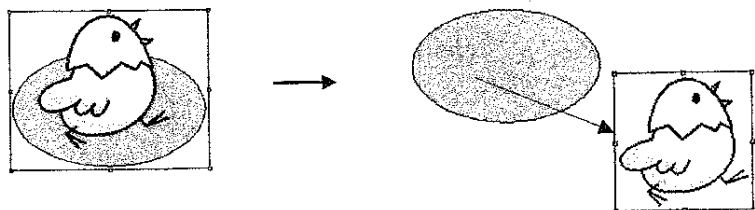


複数オブジェクトを選択して
グループ化します。

グループ解除

グループ化されたオブジェクトを解除します。

1. グループ化されているオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][グループ解除]を選択します。
3. グループ化されていたオブジェクトが解除されオブジェクトごとに選択できます。



オブジェクトの複合

重なり合う複数オブジェクトを塗潰し表示にしたとき、重なり合う部分を白抜きの設定にします。

1. オブジェクトの複合をするオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][オブジェクトの複合]を選択します。
3. 重なり合う部分が白抜きに表示され、塗りの部分は色設定ツールバーで選択されている色で塗潰されます。

【例1】



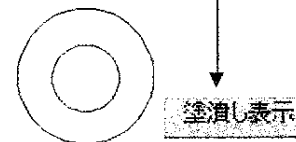
複数オブジェクトを選択し
図形複合すると

重なり合う部分が白抜きで
表示されます。

【例2】



内側の図形が白抜きに表示されます。



塗潰し表示のチェックを消した表示。

オブジェクト複合の解除

オブジェクト複合されたオブジェクトを解除します。

1. オブジェクト複合されたオブジェクトを選択します。
2. [調整(C)][オブジェクト複合の解除]を選択します。
3. 複合されていたオブジェクトが解除されます。

▼ 塗潰し表示	
拡大	Ctrl+
縮小	Ctrl-
拡大率指定	
全体表示	
ガイドをロック	
ガイドを削除	
▼ 標準ツールバー①	
▼ メインツールバー	
▼ 色設定パレット	
▼ 文字パレット	
▼ レイヤーパレット	
▼ ビューパレット	
全パレット表示/非表示 Tab	

塗潰し表示

図形データの表示をアウトライン表示か塗潰しで表示するかを切替えます。

1. [表示(V)][塗潰し表示]を選択し、チェックマークを付けると塗潰し表示され消すとアウトライン表示になります。

【☒ 塗潰し表示 ON】

超特価

全ての色属性が表示されます。

【☐ 塗潰し表示 OFF】

超特価

アウトラインで表示されます。
※文字属性のデータはグレー色で表示されます。

拡大

画面表示を拡大します。

1. [表示(V)][拡大]を選択するとマウスポインタがQの状態になり、画面上をクリックすると拡大表示します。
また、拡大したい部分をドラッグすると囲まれた部分が拡大表示されます。
2. Ctrlキーを押すとQの状態になりCtrlキーを押しながらクリックすると縮小表示します。

縮小

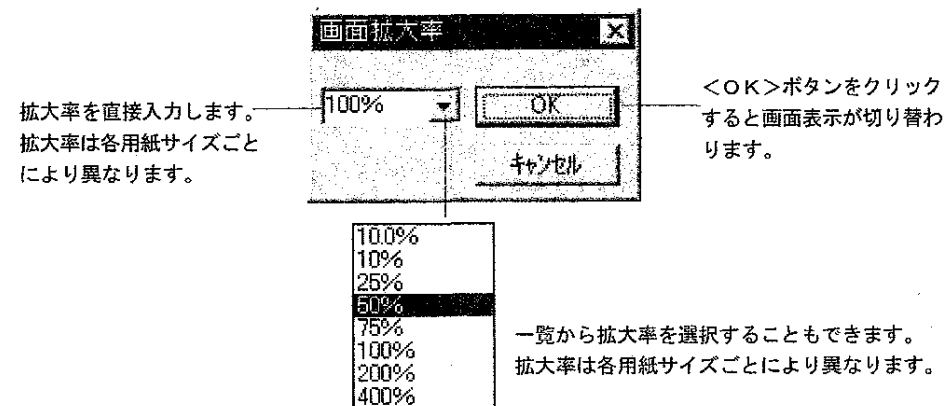
画面表示を縮小します。

1. [表示(V)][縮小]を選択するごとに画面表示が縮小します。

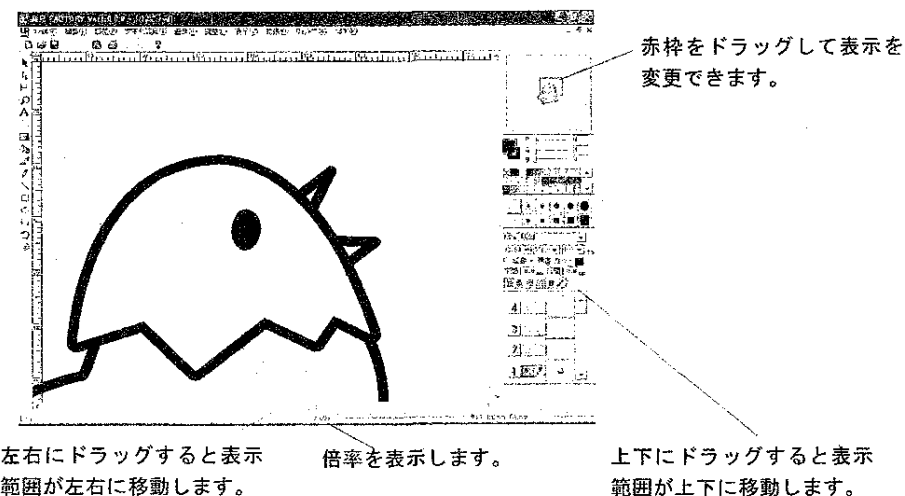
拡大率指定

拡大率指定ダイアログボックスから倍率を選択して、画面表示を拡大、縮小します。

1. [表示(V)][拡大率指定]を選択します。
2. 数値を直接入力またはダイアログボックスから拡大率を選択し<OK>ボタンをクリックします。



3. 指定したサイズに拡大、縮小表示します。



全体表示

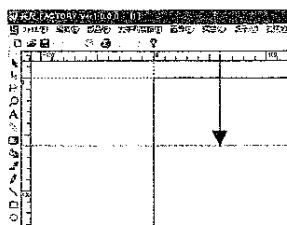
用紙全体を表示します。

1. [表示(V)][全体表示]を選択すると用紙全体を表示します。

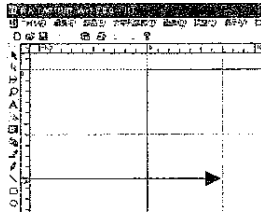
ガイド

作図画面上に垂直、水平のガイド線を作成します。

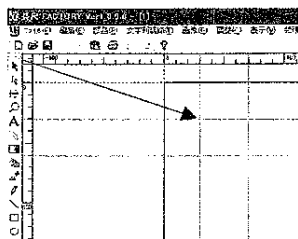
1. ガイド線を作成するには上、左または原点の定規からドラッグします。



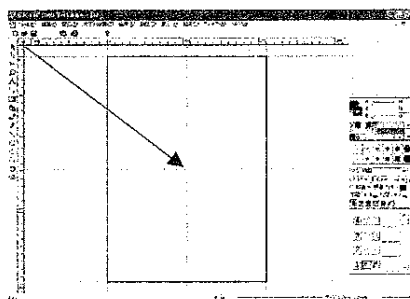
上の定規をドラッグすると
水平ガイドが表示されます。



上の定規をドラッグすると
水平ガイドが表示されます。



原点をドラッグすると
十字ガイドが表示されます。



SHIFTキーを押しながら
ドラッグすると中心に
表示されます。

ガイドをロック

ガイド線を固定にします。

1. [表示(V)][ガイドをロック]を選択するとメニューにチェックマークが付き表示されているガイドがロックされます。
解除するには再度ガイドをロックを選択してチェックマークを消します。

ガイドを削除

ガイド線すべてを画面上から削除します。

1. [表示(V)][ガイドを削除]を選択すると表示されているガイドが削除されます。

標準ツールバー

画面上の標準ツールバーを表示、非表示にします。

1. [表示(V)][標準ツールバー]を選択し、チェックマークを付けると標準ツールバーが表示され、消すと標準ツールバーが消えます。

メインツールバー

画面上のメインツールバーを表示、非表示にします。

1. [表示(V)][メインツールバー]を選択し、チェックマークを付けるとメインツールバーが表示され、消すとメインツールバーが消えます。

ビューパレット

画面上のビューパレットを表示、非表示にします。

1. [表示(V)][ビューパレット]を選択し、チェックマークを付けるとビューパレットが表示され、消すとビューパレットが消えます。

色設定パレット

画面上の色設定パレットを表示、非表示にします。

1. [表示(V)][色設定パレット]を選択し、チェックマークを付けると色設定パレットが表示され、消すと色設定パレットが消えます。

ブラシパレット

画面上のブラシパレットを表示、非表示にします。

1. [表示(V)][ブラシパレット]を選択し、チェックマークを付けるとブラシパレットが表示され、消すとブラシパレットが消えます。

文字パレット

画面上の文字パレットを表示、非表示にします。

1. [表示(V)][文字パレット]を選択し、チェックマークを付けると文字パレットが表示され、消すと文字パレットが消えます。

レイヤーパレット

画面上のレイヤーパレットを表示、非表示にします。

1. [表示(V)][レイヤーパレット]を選択し、チェックマークを付けるとレイヤーパレットが表示され、消すとレイヤーパレットが消えます。

全パレット表示/非表示

画面上の全パレットを表示、非表示にします。

1. [表示(V)][全パレット表示/非表示]を選択すると表示を切り替えます。
キーボードのTABキーで切り替えることができます。

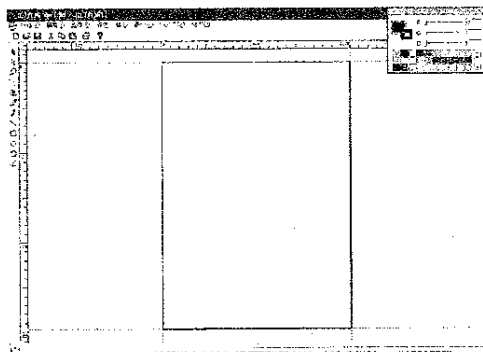
ロゴ作成

ロゴ作成

画像からアウトラインデータ(点、線として扱えるデータ)を作成します。

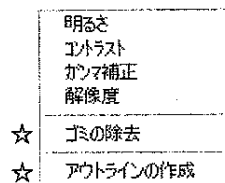
1. [拡張(0)][ロゴ作成]を選択するとロゴ作成プログラムが起動します。

※本項目ではロゴ作成にしかない機能を説明します。



画像

明るさ、コントラスト、ガンマ補正、解像度はP54、55を参照してください。



ゴミの除去

画像のゴミ(小さなドット)を回りの色で中和します。

画像データを線抽出する前に処理すると便利です。

1. 画像を選択します。
2. [画像(B)][ゴミの除去]を選択します。
3. 隣接画像を調整するダイアログが表示されますのでスライドバーをドラッグ移動、または数値を半角で入力して範囲を決めます。

ドラッグして範囲を決めます。



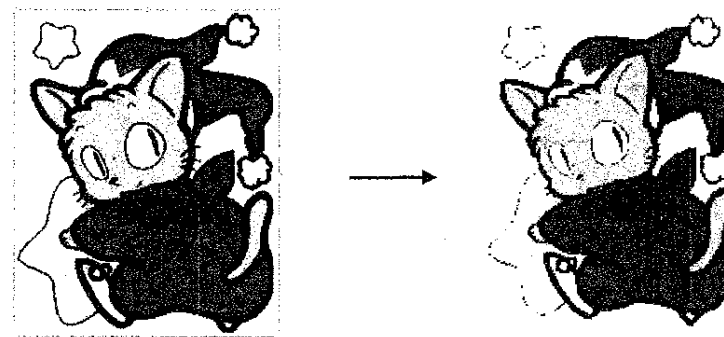
アウトラインの作成

スキャナーやインポートで読み込んだ画像を16色に変換し自動でアウトラインを作成します。

1. 画像を選択します。
2. [画像(B)][アウトラインの作成]を選択します。
3. 画像を16色に自動変換してアウトラインを作成します。
完了後、画面下のステータスバーに「完了しました」のメッセージを表示します。
4. アウトライン化されたデータが画像上に描画されます。

アウトラインデータと画像を切り離すには

1. オブジェクト選択アイコンでデータ以外の場所をクリックして全てを非選択状態にします。
2. オブジェクト選択アイコンでデータを選択しドラッグするとアウトラインデータのみ移動します。



全て非指定後、データを選択してドラッグするとアウトラインと画像に分かれます。

※アウトラインの作成後、「点の総数が多いため塗潰しできません」のメッセージがでる場合は、ごみの除去を行ってから作業してください。

点の移動
点の追加
点の削除
点を重ね

[表示][塗潰し表示]のチェックマークを消すと点、線の属性が表示され操作し易くなります。

✓塗潰し表示



塗潰し表示

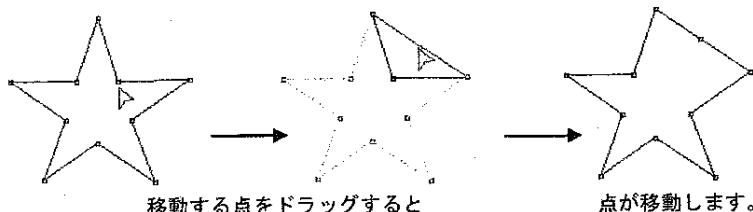
塗潰し表示をクリックすると

チェックマークが消えます。

点の移動

パスの点を移動します。

1. [表示][塗潰し表示]をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [点(P)][点の移動]を選択します。
4. パス上の点をドラッグすると点が移動します。



移動する点をドラッグすると

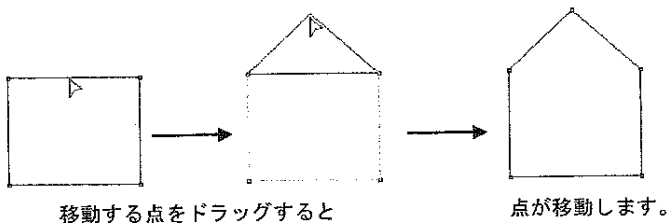
点が移動します。

※点をドラッグしたときのみ移動できます。

点の追加

パスに点を追加します。

1. [表示][塗潰し表示]をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [点(P)][点の追加]を選択します。
4. 線上をドラッグすると点が追加されます。



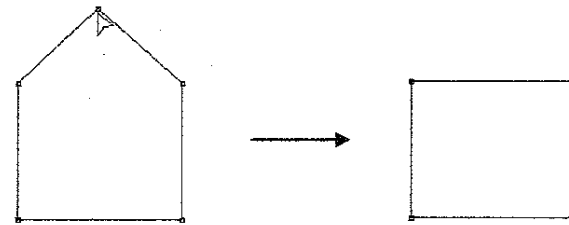
移動する点をドラッグすると

点が移動します。

点の削除

パス上の点を削除します。

1. [表示][塗潰し表示]をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [点(P)][点の削除]を選択します。
4. パス上の不要な点をクリックすると点が消えます。



削除する点をクリックすると

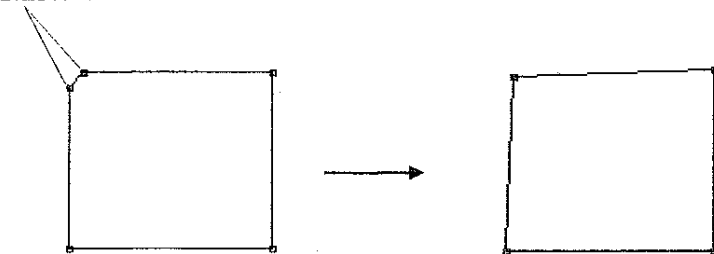
点が消えます。

点の重ね

2点を中間で融合します。

1. [表示][塗潰し表示]をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [点(P)][点の重ね]を選択します。
4. 融合する2点をクリックすると中間に2点が移動します。

2点を選択すると



2点が融合します。

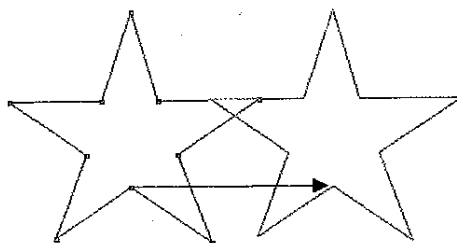
線の移動
線の削除
曲線化
直線化
線の分割

[表示][塗潰し表示]のチェックを消すと点、線の属性が表示され操作し易くなります。

線の移動

線を移動します。

1. [表示][塗潰し表示]をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [線(L)][線の移動]を選択します。
4. 移動したい線の点の近くにカーソルを移動しドラッグすると線が移動します。

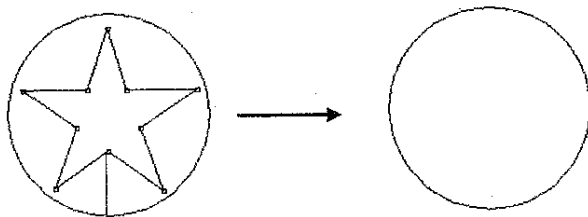


線上の点をドラッグすると線が移動します。

線の削除

線を削除します。

1. [表示][塗潰し表示]をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [線(L)][線の削除]を選択します。
4. 削除したい線上の点をクリックすると線が削除されます。



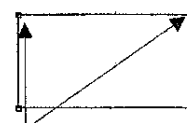
線上の点をクリックすると

線が消去されます。

曲線化

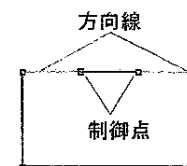
2点間をベジェ曲線に変換します。

1. [表示][塗潰し表示]をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [線(L)][曲線化]を選択します。
4. 曲線にする2点をクリックします。

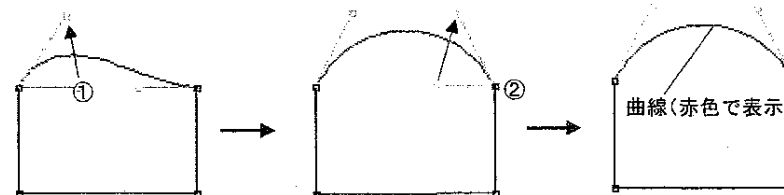


2点をクリックします。

5. 2点の制御点が追加された曲線(ベジェ曲線)に変換されます。



6. [点][点移動]または点移動アイコンを選択します。
7. 制御点をドラッグして曲線を編集します。



制御点①を上方向にドラッグすると曲線が引きよせられます。

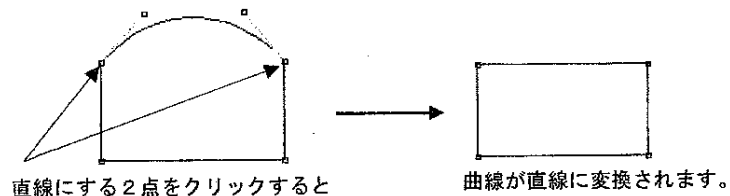
制御点②を上方向にドラッグすると曲線が引きよせられます。

おわん型の曲線ができます。(方向線はプリント出力されません)

直線化

曲線を直線に変換します。

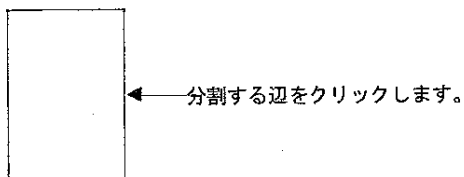
1. [表示] [塗潰し表示] をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [線(L)] [直線化] を選択します。
4. 直線にする間の点をクリックすると直線になります。



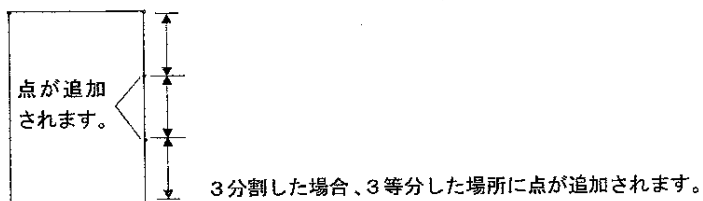
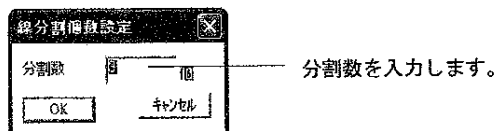
線の分割

1辺を指定した数だけ均等に分割し、点を追加します。

1. [表示] [塗潰し表示] をクリックしてチェックマークを消し、アウトライン表示にします。
2. 編集するオブジェクトを選択します。
3. [線(L)] [線の分割] を選択します。
4. 分割する辺を指定します。



5. 線分割個数設定ダイアログボックスに分割数を入力し<OK>ボタンをクリックすると指定した分割数で均等に分割された場所に点が追加されます。



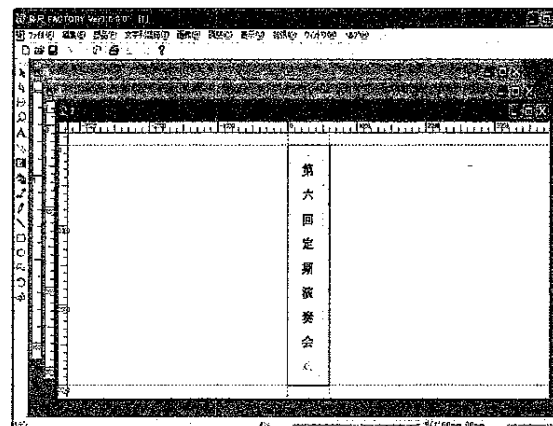
ウィンドウ

重ねて表示(C)
並べて表示(T)
アイコンの整列(A)

重ねて表示

複数ウィンドウを重ねて表示します。

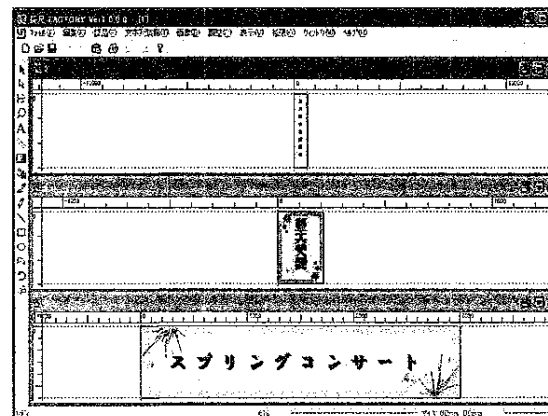
1. [ウィンドウ(W)] [重ねて表示(C)] を選択します。
2. 複数ウィンドウが重ねて表示されます。



並べて表示

複数ウィンドウを並べて表示します。

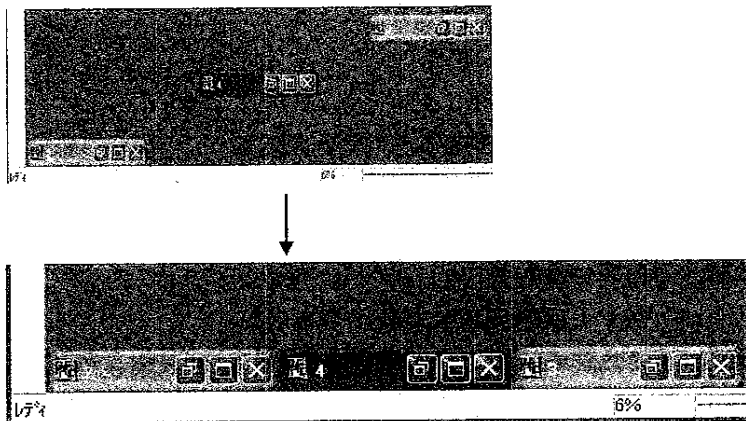
1. [ウィンドウ(W)] [並べて表示(T)] を選択します。
2. 複数ウィンドウが並べて表示されます。



アイコンの整列

最小化されているアイコンを整列します。

1. [ウィンドウ(W)][アイコンの整列(A)]を選択します。
2. 最小化されたウィンドウが画面左下に整列されます。



ヘルプ ?

トピックの検索

索引項目を目次とキーワードで検索します。

1. [ヘルプ][トピックの検索]を選択すると長尺FACTORYのヘルプファイルが表示されます。

バージョン情報

長尺FACTORYのバージョンを表示します。

1. [ヘルプ][バージョン情報]を選択すると現在のバージョンを表示します。

FAQ よくあるお問い合わせ

■表示に関するお問い合わせ

●グラデーションの表示が粗い。

画面の設定が256色以下になっている場合、表示が粗くなります。設定を256色以上変更して確認してください。

■印刷に関するお問い合わせ

●長尺FACTORYを使って、エプソン製プリンタ以外で印刷できますか？

長尺FACTORYはエプソン製プリンタ以外のプリンタで印刷することはできません。

●エプソン製プリンタ PM-3500Cで長尺出力はできますか？

PM-3500Cのプリンタドライバは長尺モードがないので長尺印刷はできません。

詳しくは最寄のエプソン販売様にお問い合わせください。

●横長のデータも出力できますか？

プリンタの設定で用紙方向を横にしてください。

●長尺対応プリンタで長尺印刷ができない。

作図サイズがプリンタ用紙設定の最大値を超える場合、プリンタ設定の用紙サイズの用紙長さを1000mm以下に設定し、用紙種類をロール紙長尺モードにして確認してください。

※ロール紙長尺モード対応のプリンタは印刷時に自動で設定されます。

●長尺印刷時、印刷プレビューすると文字が切れて表示してしまう。

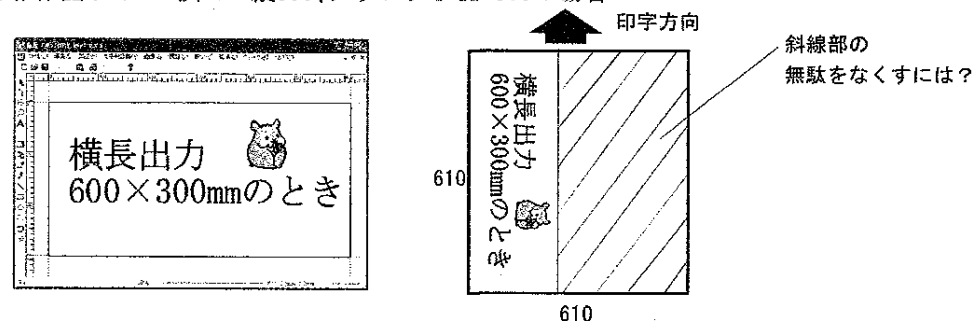
表示は用紙サイズ1ページ分づつ表示しますが印刷は各ページ毎、連続で印刷されます。また、プリンタプロパティの用紙種類をロール紙長尺モードにしてください。

●印刷設定で使用するプリンターを変更しても次に起動すると元に戻ってしまう。

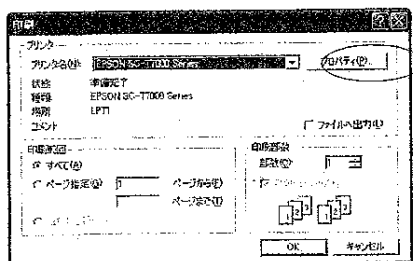
コントロールパネルのプリンター設定でEPSONのプリンターを「通常使うプリンターに設定」にしてください。

●印字面の余白に無駄があるので印刷方向を変更できますか？

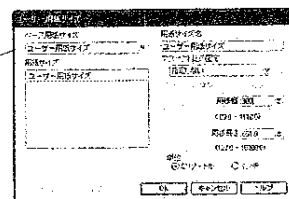
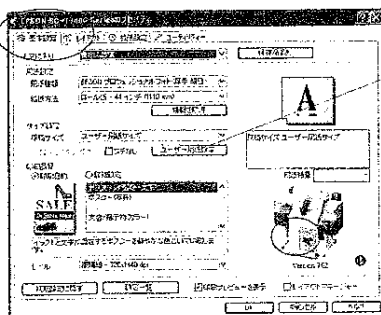
例) 作図サイズ 横600 縦300、プリンタ P X 7500の場合



①印刷時、＜プロパティ＞ボタンをクリックします。

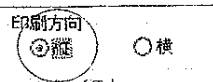
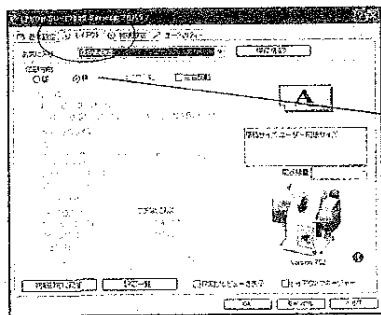


②基本設定を選択してページサイズを変更し、レイアウトを選択して印刷方向を変更して、[OK]ボタンをクリックします。



用紙幅600
用紙長さ300
数値を逆にします。

ユーザ定義サイズを選択します。

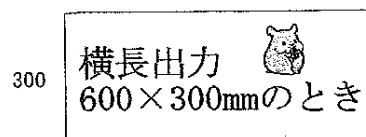


印刷方向を縦に変更
します。

③印刷方向を変更して印刷します。



印字方向



610

※縦長出力の際は
②と同様に幅と長さの数値を逆に入力し
印刷方向を横に入力します。

■ 外部ファイルに関するお問い合わせ

●長尺FACTORYでイラストレータのバージョンはいくつの形式まで読めますか？

イラストレータVer8形式まで読み込むことができます。

●フォトショップのデータは読めますか？

フォトショップ形式のデータは読み込むことができません。ただしJPEG、BMPファイル形式は読み込むことが可能です。

■ フォントに関するお問合せ

●文字パレットのボールド以上に文字を太くできますか？

右クリックメニューの図形に変換で変換後、ブラシバーや、右クリックメニューの線幅の変更で太くすることができます。文字編集ができなくなります。

■ 図形操作に関するお問い合わせ

●線やフリーハンドで書いた図形が画面に表示されない。

塗潰し表示がONのとき色設定ツールバーの色属性が×になっていると表示しません。色を確認してください。

■ その他のお問い合わせ

その他の本ソフトに関するお問い合わせにつきましては、サポートセンター(TEL:011-748-1502/FAX:011-748-6626)までご連絡ください。

また、ソフトウェアのアップデートは<http://www.theon.co.jp>よりダウンロードすることができます。